<u>MICROLINK マリオネット 操作説明書</u>

日付	内容		
2001年7月2日	第一版		
2001年7月18日	バージョンアップに伴い加筆		
2001年7月30日	バージョンアップに伴い加筆		
2001年9月18日	バージョンアップに伴い加筆・修正		

1

1. はじめに	
2. 操作の流	わ8
2.1. 起動	時
2.2. 新規	作成を選択した場合8
2.3. ファ	イルを開くを選択した場合9
2.4. メイ	ン画面9
2.4.1.	データ項目タブ10
2.4.2.	展開方法タブ10
2.4.3.	ページ設定タブ11
2.4.4.	動作タブ12
2.5. 実行	モジュール13
3. 操作説明	15
3.1. 起動	時画面
3.2. 設定	ファイルのプロパティ15
3.2.1.	雛型シートタブ15
3.2.2.	データファイルタブ16
3.3. メイ	ン画面16
3.3.1.	データ項目タブ16
3.3.2.	展開方法タブ18
3.3.3.	ページ設定タブ
3.3.4.	動作タブ
4. メニュー	とツールバー
4.1. ファ	イルメニュー
4.2. 編集	メニュー
4.3. ツー	ルメニュー
4.4. オブ	[?] ションメニュー30
4.5. ヘル	ップメニュー
4.6. ツー	リレバー
5. 動作設定	2一覧32
5.1. 表示	
5.1.1.	画面表示
5.1.2.	表示倍率設定
5.1.3.	全画面表示
5.1.4.	標準表示
5.1.5.	改ページプレビュー表示
5.1.6.	ユーザー設定ビューを表示
5.2. 操作	
5.2.1.	カーソル移動

5.2.2.	カーソル相対移動	34
5.2.3.	範囲指定	35
5.2.4.	領域選択	35
5.2.5.	セル代入	36
5.2.6.	名前定義	36
5.3. ワ	ークシート	37
5.3.1.	ワークシート切り替え	37
5.3.2.	ワークシート選択	37
5.3.3.	シートの移動	38
5.3.4.	シートのコピー	38
5.3.5.	シートを閉じる	39
5.3.6.	シートの作成	39
5.3.7.	シート名の変更	40
5.3.8.	シートを表示する	40
5.3.9.	シートを非表示	40
5.4. フ	ァイル	41
5.4.1.	ブック読込	41
5.4.2.	ファイル読込	41
5.4.3.	ファイル挿入	42
5.4.4.	書式付きファイル挿入	42
5.4.5.	名前を付けて保存	43
5.4.6.	Web ページとして保存	43
5.4.7.	CSV ファイルとして保存	44
5.4.8.	XML ファイルとして保存	44
5.5. 印	刷	45
5.5.1.	印刷範囲設定	45
5.5.2.	印刷プレビュー	45
5.5.3.	シートの印刷	46
5.5.4.	全シートの印刷	46
5.5.5.	印刷ダイアログ表示	46
5.6. 編	集	47
5.6.1.	切り取り	47
5.6.2.	コピー	47
5.6.3.	貼り付け	48
5.6.4.	データだけを貼り付け	48
5.6.5.	書式だけを貼り付け	49
5.6.6.	削除	49
5.6.7.	挿入	50
5.6.8.	行挿入	50

5.6.9. 列挿	i入	51
5.6.10. 改	[ページ挿入	51
5.6.11. ク	リア	52
5.6.12. 画	i像の貼り付け	52
5.7. データ		53
5.7.1. 並べ	替え	53
5.7.2. オー	・トフィルター	53
5.7.3. 集計		54
5.7.4. テー	·ブルの更新	55
5.8. 保護		56
5.8.1. 全シ	[,] ートの保護	56
5.8.2. 全シ	[,] ートの保護を解除	56
5.8.3. シー	·トの保護	56
5.8.4. シー	·トの保護を解除	56
5.9. メール		56
5.9.1. メー	[.] ル送信	56
5.9.2. メー	[.] ル宛先設定	57
5.9.3. メー	・ル件名設定	57
5.10. その他	J	57
5.10.1. 検	索	57
5.10.2. ブ	゚゙ラウザでプレビュー	58
5.10.3. マ	'クロ起動	58
5.10.4. 外	·部アプリケーション起動	58
5.10.5. イ	メージ置き換え	59
5.10.6. Ex	xcel 終了	59
5.11. エイリ	アス	59
6. チュートリア	יארי	61
6.1. 準備		61
6.2. 起動		64
6.3. 設定		67
6.3.1. デー	・夕項目の設定	68
6.3.2. 展開]方法の設定	70
6.3.3. 動作	の設定	79
6.4. チェック	とテスト	80
6.5. 実際のデ	ータで実行	81
6.6. 応用		83
6.6.1. 複数	!ページのシートを作成する	83
6.6.1.1. ペ	ージのレコード数を設定	83
6.6.1.2. 拡	、張ジャンプ・拡張展開を設定する	83

6.0	6.1.3.	ページ設定	85
6.0	6.1.4.	実行	87
6.0	6.2.	自動的に印刷して終了する	88
6.0	6.3.	複数のファイルを扱う方法	89
6.0	6.3.1.	複数データファイルを登録	90
6.0	6.3.2.	追加したデータファイルの設定	91
6.0	6.4.	データファイルを必要としない設定(動作設定だけを使用)	93
6.0	6.5.	ページごとに動作指示を行う設定	94
6.0	6.6.	グループ機能を使用した一覧表の作成	97
7. Ti	ps		02
7.1.	開発	きモジュール利用に関する注意事項1	02
7.2.	実行	テモジュール利用に関する注意事項1	02
7.3.	異常	3終了時のシステムリソース問題について1	02
7.4.	指定	E帳票の位置合わせについて1	02
7.5.	雛型	リシートの取扱い1	03
7.6.	エラ	ラーメッセージ一覧1	03
7.0	6.1.	起動時に表示されるメッセージ1	03
7.0	6.2.	開発モジュールで表示されるエラーメッセージ1	04
7.0	6.3.	実行モジュールで表示されるエラーメッセージ1	04
7.7.	制限	3事項1	04
7.8.	実行	テモジュールの起動方法1	05
7.9.	バー	-ジョンアップによる変更点1	06
7.9	9.1.	バージョン 1.10 での変更点1	06
7.9	9.2.	バージョン 1.11 での変更点1	06
7.9	9.3.	バージョン 1.20 での変更点1	06
7.9	9.4.	バージョン 1.21 での変更点1	07
8. 技	術資料	¥1	08
8.1.	実行	テモジュール動作サイクル1	08
8.2.	実行	テモジュール動作サイクル(ページごとに動作処理の場合)	10
9. 最	後に…		12
10.	図表		13
10.1	. 🗵]1	13
10.2	. 表	₹1	15

1. はじめに

マリオネット(以下、本プログラム)は Excel2000 または Excel2002 を外部から操作する アプリケーションです。外部から Excelを操り人形のように動かすことができるということか らマリオネットと名付けられました。

本プログラムを使用することでExcelをソフトウェア部品としてシステム開発の中で簡単に 使用したり、パワーユーザーのために定型Excel作業を簡単に自動化したりすることができま す。

これまで Excel を外部から操作するためにはマクロ・VBA の利用や OLE オートメーション を利用したプログラミングが必要でしたが、これらの習得には多大な学習コストがかかってい たのが現状でした。

本プログラムでは、このような知識やプログラミング技術は一切必要なく、ダイアログ上での簡単な設定により誰でも簡単にプログラムレスでExcelをVBAなどを利用した場合と同様、 またはそれ以上に操作することが可能になります。

Excel はその膨大な機能からもわかるように、様々な用途を持ったソフトウェア部品として 使用することができます。例えば、

- ◆ 帳票ツール
- ◆ プレビューツール
- ◆ グラフツール
- ◆ 集計ツール
- ◆ ソートツール
- ◆ クロス集計ツール(ピボットテーブル)
- ◆ Excel ファイル作成ツール
- ◆ html ファイル作成ツール
- ◆ オブジェクトコンテナツール
- ◆ メール送信ツール
- ◆ インターネットブラウザ上における帳票ツール(ActiveX)
- ◆ SQL クエリーツール

などとして利用できます。

本製品は開発モジュールと実行モジュールの2本で構成されます。開発モジュールで作成した内容は設定ファイルに保存され、アプリケーションからは実行モジュールを通してこの設定ファイルを起動することができます。

また、テスト実行のために開発モジュール上から様々な方法で実行できるようにもなっています。

帳票作成ツールとして使用するのであれば指定帳票印刷も含め、様々な帳票パターンに対応 することができるので、雛型にデータを展開するような帳票作成機能を求めていた方にも最適 なツールとしてご利用いただけます。 帳票雛型作成には独自のツールを使用せず、普段お使いになられている Excel を使って作成 できるので、ツール使用に対する敷居は低くなっています。また、市販されている Excel 雛型 サンプルを利用することも可能です。

また、Excel を外部からの操作ですべての処理を行うことが可能なので結果ファイルはマクロなどを含まないインターネット配布に適したシートになります。

雛型に展開する元データには CSV・ページ区切り付き CSV (伝票イメージ)・XML などを 組み合わせて利用できます。開発工程において Excel 雛型シートは作業者を分けて作成するこ とができるので、デザインとロジックの分離を実現することができ、効率の良い開発を進める ことが可能になります。

マオネ外概念図



図 1-1 本プログラムの構成図

- 2. 操作の流れ
- 2.1. 起動時

開発モジュールの起動時には エラー! 参照元が見つかりません。のようなダイアログが表示され、設定ファイルを新規作成するか、既存のファイルを使用するかを選択することができます。ここで「キャンセル」を選択すると本プログラムを終了することができます。

MICROLINK Marionette スタート				
 ● 新規作成 ● ファイルを開く 				
OK キャンセル				

図 2-1 起動時ダイアログ

2.2. 新規作成を選択した場合

新規作成を選択した場合は 図 2-2 のようなダイアログが表示され、設定ファイルの基本情報を設定することができるようになります。「データファイル」タブを選択すると画面は 図 2-3 のように変わり、こちらでは使用するファイル情報を設定します。

設定ファイルのプロパティ	×
離型シート データファイル	
設定ファイル名	
新規作成	
設定の説明	
┌ EXCEL雛型シート	
◎ 新規シート	
○ 既存シート	
参照	
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	

図 2-2 設定ファイルのプロパティ

設定ファイルのプロパティ	×
▲ エン - ト リ シン F ル ト	1
道加 肖山	除
のK適用(A)	ヘルプ

図 2-3 データファイルタブ

2.3. ファイルを開くを選択した場合

ファイルを開くを選択した場合は 図 2-4 のようなコモンダイアログが表示され、保存した 設定ファイルを読み込むことができます。ここでファイルを選択すると 2.2 と同様の画面が表 示され、設定ファイルの編集をすることができます。

ファイルを開く		<u>? ×</u>
ファイルの場所①:	🔁 data	▼ € 1 ⊞ •
a.mxl a.mxl a2.mxl test.mxl toto.mxl toto2.mxl	 € toto3.m×l € totox.m×l € toto展開なし.m×l € x.m×l € x1.m×l € xml.m×l 	 ● ラベル印刷.mxl ● 巨大データ.mxl ● 指定帳票サンブル.mxl ● 複数CSV挿入あり.mxl
ファイル:名(<u>N</u>):	*.mxl	開(②)
ファイルの種類(工):	mlexcel file (*.mxl)	 キャンセル

図 2-4 ファイルを開く コモンダイアログ

2.4. メイン画面

設定ファイルの基本情報が決定すると 図 2-5 のようなウィンドウが表示されます。このダ イアログが開発モジュールの基本画面で、実際のデータ操作などはすべてこのウィンドウから 行います。

2.4.1. データ項目タブ

最初の「データ項目」タブでは、データファイル毎にどの項目を使用するのかを決定しま す。ここで使用を決定した項目に対して、次の「展開方法」タブで詳細な設定をすることに なります。

		×	ม⊅(H ↓ Ş	ン(Q) へ, 【 <u>乳</u> [])が []	LINK Marionette - a.mxl 編集値) ツール① オブショ ■ 11 12 12 12 12 12 12 12	ICROLI 「ル(E) 」 🚅 📱 ータ項目 データファ
	1		使用。		項目	データ項
型	<u> データ</u>	_ 項目名	No	\rightarrow	<u>項目名</u> ▲	No J
-	値	CSV/P/F1/R/カラム1	1		CSV/P/F1/R/カラム1	1 0
	値	CSV/P/F1/R/カラム2	2	×←	CSV/P/F1/R/75/3	2 C
	佔	00V/D/E1/D/HSJ 0	2		CSV/P/F1/R/カラム4	4 C
		030/F/FI/R/JJ/23	<u>ہ</u>	↑ 1	CSV/P/F1/R/カラム5	5 C
	値	CSV/P/F1/R/カラム4	4		CSV/P/F1/R/カラム6	6 C
	値	CSV/P/F1/R/カラム5	5	_↓	CSV/P/F1/R/15/8	8 0
	値	09V/P/E1/P/55/.6	6		CSV/P/F1/R/カラム9	9 C
		000/17/17/0/0/0/0/00	<u>ا</u>	<u> </u>	CSV/P/F1/R/カラム10	10 C
-	値	CSV/P/F1/R/カラム7	7		CSV/P/F1/R/カラム11	11 C
				> × «		•
	10	CSV/P/F1/R/75/27	•	׫	CSV/P/F1/R/カラム11	11 C

図 2-5 メイン画面(データ項目タブ)

2.4.2. 展開方法タブ

展開方法タブを選択すると 図 2-6 のような画面が表示され、ここで雛型シートのどの位置にデータを挿入していくのかなどの詳細な情報を設定します。

MICRO	LINK Marionette – a.mxl –						
ァイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)							
🗎 🖻	🔚 🖆 🖻 🛍 🇘 [21 🕴 🗓 🛛	1 🖗 🗙				
データ項	፪目 展開方法 ページ設定	2 動作					
<i>≓</i> ∟ಶ	コーイル 注立書MD oc			_	td2E如理 \\		
) -9		γ			1/4315223主 //		
使用了	する項目						
No	項日名	<u>データ型</u>	挿入位置	展開指定	<u>データ内容</u>		
1	CSV/P/F1/R/カラム1	値	G22 🔻 🔣	展開なし <u>…</u>	2001/05		
2	CSV/P/F1/R/カラム2	値	G23	展開なし	12345		
3	CSV/P/F1/R/カラム3	値	C27	展開なし	株式		
4	CSV/P/F1/R/カラム4	値	C28	展開なし	ハードー式		
5	CSV/P/F1/R/カラム5	値	C29	展開なし	2001/05 🖵		
┍展開	。 問時挿入指定(レコード単位)						
	挿入な」。 ○ 挿入する						
			иж э. ш. — — — — — — — — — — — — — — — — — —				
	挿入範囲		挿入先				

図 2-6 展開方法タブ

2.4.3. ページ設定タブ

ページ設定タブを選択すると図 2-7 のような画面が表示され、ここでページに関する設 定を行います。

₩ MICROLINK Marionette - a.mxl	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)	
🎽 🚅 🖬 🖆 🗈 🛍 🌣 🏥 🕄 🗐 🥰 🗡	
データ項目 展開方法 ページ設定 動作	
☑ ひぺージコードを自動で挿入する □ ページごとに動作処理をする	
┌詳細設定@女ページ単位)	
ページ設定の基準にするデータファイル (注文書MD.csy	ㅋ
改ページの挿入位置(本日)	
改ページの際に複写するコピー元 A22:G60	
改ページの際に被写するコピー先 相対位置下2 …	

図 2-7 ページ設定タブ

2.4.4. 動作タブ

動作タブを選択すると 図 2-8 のような画面が表示され、データ取り込み後に Excel をど のように操作するのかといった情報を設定します。複数の処理を設定できるようになって いますので、処理の組み合わせによっては制御ができなくなる可能性がありますので注意 が必要です。

 Image: MICROLINK Marionette - a.mxl ファイル(E) 編集(E) ツール(D) オ (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	17ション(2) 副 ! 到 定 動作	۱۱۸ اول	J⊞ § ×		<u> </u>
 国・表示 由・ 操作 由・ ワークシート 由・ ファイル 由・ 印刷 申・ 編集 申・ データ 申・ データ 申・ データ 申・ デール 由・ その他 	→ ×← ↑	No 1 2	EXCEL動作 画面表示 印刷ブレビュー	詳細設定 する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	

図 2-8 動作タブ

2.5. 実行モジュール

すべての設定が終了して保存したファイルを実行モジュールに実行させることで、設定した情報を元に Excel シートを作成していきます(図 2-9)。実行モジュールはコマンドラインア プリケーションとして提供されていますので、特別な設定は一切不要です。

🔀 Microsoft Ex	cel - MXL349.xls					
次ページ(<u>N</u>)	前ページ(P) (拡大(2)) E	□刷(工).		設定(S)	余白(M)	改ページ プレビュー(
	注	文	 書	₽И с 12569)		
	排成会社マイクロリンク カードー式 特も ハードー式 対点利用 手成均年5330月 対入側所 評社に放送第5330月 対入側所 評社に放送第5030月 大阪保持 20歳の登月末編込み 合計金額 ¥1.200,000	换		▲野金橋工第 〒950-0025 ち古唐市中区2 ち古唐サフト1 11日:02-02-0 11日:02-02-0 11日:02-02-0	更存み会社 転46-11-6 5エアセンター4F 616	
				E	p ép ép	
	病患者	御後	単位	単塩	金額	
	<u>7-91</u>					
	7-92					
	4 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				0	
印刷ブレビュー	:1/2 ~~ 위				JNUM J	

図 2-9 実行結果

3. 操作説明

開発モジュールで使用する各ダイアログの説明です。

3.1. 起動時画面

開発モジュールを起動した時に表示されるダイアログです。



図 3-1 起動時画面

3.2. 設定ファイルのプロパティ

新規作成または設定ファイルを編集する際に表示されます。

3.2.1. 雛型シートタブ

設定ファイルに関する設定や雛型シートの設定をします。



図 3-2 雛型シートタブ

3.2.2. データファイルタブ

使用するデータファイルを設定します。

離型シートの設定画面に 切り替わります。	×
離型シート データファイル	
番号 ファイル名	種類
1 注文書MD.csv	マルチドキュメントCSV
使用するデータファイル	データファイルの書式を
	設定します。
	登録されたデータファイ
	ル項目を削除します。
テーダファイルを登録します。	
	追加 ┃ 削除 ┃
OK キャンセル	適用(白) ヘルプ

図 3-3 データファイルタブ

3.3. メイン画面

開発モジュールのメインダイアログです。

3.3.1. データ項目タブ

使用する項目を設定します。



図 3-4 データ項目タブ(1)



図 3-5 データ項目タブ(2)

▶ デ-	- 夕型の種類
値	データをそのまま扱います。
数式	データを数式として扱います

表 3-1 データ型の種類

3.3.2. 展開方法タブ

データの展開に関する設定をします。拡張処理ダイアログなどでは、データ展開をサポー トする様々な設定をすることができます。

HE MLEXCEL	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルブ(H)	データファイルの処理に関す る詳細な設定を行う拡張処理 ダイアログを表示します。
データファイル 注文書MD.csv 使用する項目	拡張処理 >>
№ 項目名 データ型 挿入位置 展開指定 1 CSV/P/F1/R/カラム1 値 G22 図 展開なし 2 CSV/P/F1/R/カラム2 値 G23 展開なし 項目ごとにより詳細な設定を することができる詳細設定ダ 値 別ウィンドウで開いている Excel シートで示しているカ	 データ内容 <u>2001/05</u> 12345 株式会 データをどの方向に展開
イアログを開きます。 値 展開時挿入指定(レコード単位) データを挿入する基準の位置 ● 挿入なし 〇 挿入する ● 挿入する	して挿入していくかを設 定する項目展開指定ダイ アログを開きます。
挿入範囲 挿入先 1 レコードを展開した後に 空行の挿入先を指定し 空行を挿入する範囲を指定します。	ます。

図 3-6 展開方法タブ

◆ 挿入位置と展開指定						
挿入位置を " A1 " に 展	開指定を	"下1"。	と指決	定した場合		
A 1 1レコード目 2 3 4 5 挿入位置を "A1 " に展	日	((" 右 1 " 。	1 2 3 4 と指決	<u>A</u> 1レコード目 2レコード目	B	C
A 1 1レコード目	В	С	1	<u>A</u> 1レコード目	B 2レコード目	C

表 3-2 挿入位置と展開指定

◆ 唐	展開時	挿入指定							
挿ノ	∖範囲	を"A2:C2"扌	挿入先を"下1"	と指定	した	易合			
	A	В	С			A	В	С	
1		都道府県名	面積(平方km)		1		都道府県名	面積(平方km)	
2					2	1	北海道	83453.04	
3					3	2	青森県	9234.52	
4					4	3	岩手県	15278.4	
F	C								
挿ノ	、時に	属性なども継ば	承されます。また	こ最終し	~コー	ドをタ	処理した時に	は挿入処理は自動	的に

省略されます。

表 3-3 展開時挿入指定

拡張処理	展開処理の対象となるシート名を 指定します。何も指定しない場合 は設計時に表示されたシートに対 して処理を行います。
展開処理を行うシート名 「 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSV 形式のデータファイルを何レ コードごとに 1 ページ分のデータ として処理するかを指定します。
 レコードを1ページ分として処理する 1番の項目のデータが変わった時点をページ 	の区切りとする(非MD-CSV,ODBCのみ)
✓ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から	1 番目のデータが変化したところ までを 1 ページ分のデータとして 処理するかを指定します。
□ 拡張展開処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとこ	式を基準位置から にっピーする
展開後削除指定(ページ単位) ・ 削除なし ・ ・ ・	
	OK キャンセル

図 3-7 拡張処理ダイアログ(1)

◆ 一定レコード数ごとにページの区切りとする	3
5 レコードと指定した場合	3 レコードと指定した場合
✓ data.txt - メモ帳	▲ data.txt - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルプ(H)	ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルプ(H)
01,北海道,83453.04	01,北海道,83453.04
02,青森県,9234.52	02,青森県,9234.52
03,岩手県,15278.40	03,岩手県,15278.40
04,宮城県,6861.42	04,宮城県,6861.42
05,秋田県,11434.11	05,秋田県,11434.11
06,山形県,7394.33	06,山形県,7394.33
07,福島県,13782.48	07,福島県,13782.48
08,茨城県,6095.58	08,茨城県,6095.58
09,栃木県,6408.28	09,栃木県,6408.28
10,群馬県,6383.16	10,群馬県,6363.16
11,埼玉県,3767.09	11,埼玉県,3767.09
12,千葉県,4995.76	12,千葉県,4995.76
13,東京都,2102.35	13,東京都,2102.35
14,神奈川県,2415.41	14,神奈川県,2415.41
15,新潟県,10938.80	15,新潟県,10938.80
16,富山県,2801.69	16,富山県,2801.69

表 3-4 一定レコード数ごとにページの区切りとする

◆ 1番の項目のデータが変わった時点をページの区切りとする
カラム1を1番のデータに指定した場合
②全国面積2 csv - メモ帳 □○× ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルブ(H) A,01,北海道,833452.47 A,02,青森県,9234.39 A,03,岩手県,15278.38 B,04,宮城県,6861.35 B,05,秋田県,11434.11 B,06,山形県,7394.33 B,07,福島県,15278.288 C,08,茨城県,6095.04 C,09,栃木県,6408.28 C,10,群馬県,6363.16 D,11,埼玉県,3767.09 D,12,千葉県,4995.72 D,13,東京都,2102.34 D,14,神奈川県,2415.14 D,15,新潟県,10338.74 F,16,富山県,2801.66

表 3-51番の項目のデータが変わった時点をページの区切りとする



図 3-8 拡張処理ダイアログ(2)

◆ 拡張ジャ	ャンプ					
"下5"と	と指定した場合		"下10"	と指定	した場合	
	A B	С		Α	В	С
	1北海道	83453.04	1	1	比海道	83453.04
2	2 青森県	9234.52	2	2	青森県	9234.52
3	3 岩手県	15278.4	3	3	岩手県	15278.4
4	下に5つ移動		4	<u>۲</u>	c10移動	
5	.		10	¥		
6	4 宮城県	6861.42	11	4	宮城県	6861.42
7	5 秋田県	11434.11	12	5	秋田県	11434.11
8			13			
9			14			
10			4.5			



	A	В	C
	1	北海道	83453.04
2 3	2	<u>ま未</u> 旧 改べージ: 位置を基準	1〜ドの 4.52 結に移動 ^{78.4}
5	4	宮城県	6861.42
6	5	秋田県	11434.11
7			
8			
9			
10			

表 3-6 拡張ジャンプ

▶ 拡張	拡張展開処理								
" A1:	C4 "	を"下7"に							
(雛型	(雛型シート)				(1ページ分のデータを処理後)				
	Α	В	С	[
1		都道府県名	面積(平方km)		1 都道府県名 面積(平方km)				
2					2 1 北海道 83453.04				
3					3 2 青森県 9234.52				
4					4 3 岩手県 15278.4				
5					5				
6					6 上下に7つ				
7					7				
8					8 都道府県名 面積(平方km)				
9					9/				
10					10				
11									
12					12				
12									

表 3-7 拡張展開処理

拡張処理	x
展開処理を行うシート名	
 □ 一定レコード数ごとにページの区切りとする(非MD-CSVのみ) □ レコードを1ページ分として処理する 	
🥅 1番の項目のデータが変わった時点をページの区切りとする(非MD-CSV,ODBCのみ)	
▼ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位)	
1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から「下41」 にジャンプする	
□ 拡張展開処理を行う(ページ単位)	
1ページ処理ごとこ 1 ページのデータを処理した後に指 にしてつビーする 定した範囲のセルを削除します。	5
OK キャンセル	

図 3-9 拡張処理ダイアログ(3)

展開	間後削	除指定							
" A4:	C4 "	を削除範囲に	指定した場合						
ペー	ジ分	のデータを奴	L理後)		(削除	後)			
	A	В	С	[A	В	С	0
1		都道府県名	面積(平方km)		1		都道府県名	面積(平方km)	
2	1	北海道	83453.04		2	1	北海道	83453.04	
З	2	青森県	9234.52		3	2	青森県	9234.52	
4	3	岩手県	15278.4		4				
5					5				
e					e				

表 3-8 展開後削除指定



図 3-10 移動先指定ダイアログ



図 3-11 詳細設定ダイアログ



図 3-12 項目展開指定ダイアログ

3.3.3. ページ設定タブ

改ページなどの設定をします。



図 3-13 ページ設定タブ(1)

型シ	- ト	•)			(結果	북)			
	Α	В	С	C		Α	В	С	
1		都道府県名	面積(平方km)		1		都道府県名	面積(平方km)	
2					2	1	北海道	83453.04	
3					3	2	青森県	9234.52	
					4	3	岩手厚	15278.4	
4					200200000000000	<u> </u>			
4 5 を行	う場 	合に"A3" ?	を指定した場合		5	·	<u>↓</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
4 5 を行 型シ	う場 ート	合に"A3"を ・)	を指定した場合		5 (3行	挿入	<u>した結果</u>)		
4 5 を行 型シ	う場 ート A	合に"A3"を ・) B	を指定した場合 C	C	(3行	· 挿入 A	した結果) B	C	
4 5 を行 型シ 1	う場 ート A	合に"A3"を) 都道府県名	を指定した場合 C 面積(平方km)	C	, 5 (3行 1	· 挿入	した結果) 日 都道府県名	C 面積(平方km)	
4 5 を行 型シ 1 2	う場 ート A	合に"A3"を う 都道府県名	を指定した場合 C 面積(平方km)	E	5 6 (3行 1 2	挿入 A 1	した結果) 日 都道府県名 北海道	C 面積(平方km) 83453.04	
4 5 を行 型シ 1 2 3	う場 ート A	合に"A3"を ・)	を指定した場合 C 面積(平方km)	C	5 6 (3行 1 2 3	挿入 A 1 2	した結果) B 都道府県名 北海道 青森県	C 面積(平方km) 83453.04 9234.52	
4 5 を行 型シ 1 2 3 4	う場 ート A	合に"A3"を)	を指定した場合 C 面積(平方km)	Ē	5 6 (3行 1 2 3 4	挿入 A 1 2 3	した結果) B 都道府県名 北海道 青森県 岩手県	C 面積(平方km) 83453.04 9234.52 15278.4	

表 3-9 改ページの挿入位置

•	改ペ	、ージ	時の複写							
"	" A1:C4 " を " カーソル位置 " に複写した場合 (改ページ位置は " A5 ")									
(2	(改ページ直後)					(結果	ł)			
		Α	В	С	C		Α	В	С	C
	1		都道府県名	面積(平方km)		1		都道府県名	面積(平方km)	
	2	1	北海道	83453.04		2	1	北海道	83453.04	
	3	2	青森県	9234.52		3	2	青森県	9234.52	
	4	3	岩手県	15278.4		4	3	岩手県	15278.4	
	5					5		都道府県名	面積(平方km)	
	0			The second s		6				
						7				
						8				
						9				
						カーン	ノル位	」 2置とは改ぺ	ージの挿入位置	【と同
						じにな	いま	. ज.		

表 3-10 改ページ時の複写

₩ MICROLINK Marionette - a.mxl	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オプション(Q) ヘルプ(H)	
 1 ページ処理毎に動作設定で データ 指定した内容を実行するか どうかを設定します。 	(
□ ページ制御をする マージごとに動作処理をする	
┌詳細設定(ページ単位)	
▶ ロページコードを自動で挿入する	
ページ設定の基準にするデータファイル 注文書MD.csv	
改ページの挿入位置 A61 💽	
改ページの際に複写するコピー元 A22:G60 ■	
改ページの際に雑写するコピー先相対位置:下2	
	_

図 3-14 ページ設定タブ(2)

3.3.4. 動作タブ

データの展開が終了した後に動作させる Excel の処理を設定します。



図 3-15 動作タブ(1)

##MLEXCEL				_ 🗆 🗵			
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)							
- 🏠 🚅 🖬 🖆 📭 🛍 📍 📍 🚰		Z 🗙					
- 「データ項目 展開方法 ページ設定 ■ 寿設	ミリス }定し	トに関するバラメ ます。	-9				
処理リストで選択した処理アイ							
テムを動作リストに加えます。		``````````````````````````````````````					
	No	EXCEL動作	詳細設定				
動作リストで選択したアイテム	1	画面表示	する				
をリストから削除します。	2	印刷プレビュー					
動作リストで選択した 1 つの処							
理アイテムの処理順位を1つ上							
動作リストで選択した 1 つの処 理アイテムの処理順位を 1 つ下							
げます。							

図 3-16 動作タブ(2)

4. メニューとツールバー

4.1. ファイルメニュー

REXCEL	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) オプション(Q) ヘルプ(H)
新規作成(<u>N</u>)	🕙 ! 🗓 🗐 🖗 🗙
開((<u>0</u>) (255(5)	「ジ設定」動作「
1米14-02/ 名前を付けて保存(A)	
	MD.csv
アプリケーションの終了⊗	使用する項目

図 4-1 ファイルメニュー

<u>新規作成</u>

全ての設定情報をクリアして、新しく設定ファイルを作成します。

<u>開く</u>

保存した設定ファイルを開いて編集をします。

<u>保存</u>

編集した設定ファイルを現在のファイル名で保存します。

<u>名前を付けて保存</u>

編集した設定ファイルを新しいファイルとして別名で保存します。

<u>プロパティ</u>

編集している設定ファイルの情報を編集します。

<u>アプリケーションの終了</u>

このアプリケーションを終了します。

4.2. 編集メニュー

	MLEXCE	L					
7	77イル(E)	編集(<u>E</u>) ツール(T) オ	ブション(0)	ヘルブ	Έ		
	🗎 🚄	□ピー(<u>©</u>) ®tn(t(+(P)	Ctrl+Shift	+C +V	¥	×	
	データ項目	最新の情報に更新(R)	F5	••			

図 4-2 編集メニュー

<u>コピー</u>

展開方法タブのカーソル位置にある"展開指定"をコピーします。

<u>貼り付け</u>

コピーした"展開指定"をカーソル位置に貼り付けます。

最新の情報に更新

データファイルの内容を最新の状態に更新します。このコマンドを実行することによっ てデータファイル内にカラム名の変更があれば、その変更も反映されます。

4.3. ツールメニュー

R MLEXCEL			_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E)	ツール(T) オプション(Q) -	ヘルプ(円)	
12 🚅 🔒 👔	Excel起動(L)	§ 🗙	
データ項目 展開方	実行(<u>R</u>)		
	テスト実行(工) 🔹 🕨	・ 1ステップ実行(<u>O</u>)	
データファイル			
	クリーン(E)		

図 4-3 ツールメニュー

Excel 起動

設定された Excel シートを開くか、新規にシートを作成します。

実行

設定した内容で実際に実行します。

<u>テスト実行</u>

設定した内容を確認するためにテスト実行を行います。

"1 ステップ実行"では1 つの処理ごとに停止しますが、"連続実行"ではすべての処理を停止することなく行います。

<u>設定内容のチェック</u>

設定した内容に誤りが無いかどうかチェックをすることができます。

<u>クリーン</u>

ランタイム実行時に作成される作業用の Excel ファイルをすべて削除します。

4.4. オプションメニュー

##MLEXCEL	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) オブション(Q) ヘルプ(H)	
- 🏠 🚅 🔚 🖆 💼 🛍 🖳 📴 設定② 🥳 🎸 🗙	

図 4-4 オプションメニュー

<u>設定</u>

設定ダイアログ(図 4-5)を表示し、各種設定をすることができます。

5	で定 「初期フォルダーーーーーー データファイルの子			CSV や XML などのデータ ファイルを置くフォルダを 指定します。
	シートファイル位置			Excel のシートファイルを 置くフォルダを指定しま す。
	設定ファイル位置 	C:¥MLEXCEL¥data 常にウィン に配置さt	ンドウを最前面 せます。	設定ファイルを置くフォ ルダを指定します。
	 「常に最前面ウィンド」 「半透明ウィンドウと」 	ウとして表示 して表示 (Windows2000以降	() ウィンドウ	を透過型にします。
	□ 前回のウィンドウ位	置を記憶する ◀	再起動時に前回終 ウィンドウを表示し	了した位置に Jます。
		ОК	キャンセル	

図 4-5 設定ダイアログ

4.5. ヘルプメニュー

THE MLEXCEL	- I X
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オプション(Q) ヘルプ(H)	
웥 🚅 📓 🕋 🖺 🕄 🌻 🚺 🗐 🖊 🗐 🖊 🕄	

図 4-6 ヘルプメニュー

4.6. ツールバー

THE MLEXCEL	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)	
12 🚅 🖬 🖆 🖻 💼 🕙 🗜 🕕 💷 🗸 🗡	
「データ項目 展開方法 ページ設定 動作	

図 4-7 ツールバー

1	新規作成	đ	開く		保存		プロパティ
	コピー	ø	貼り付け	ŧ	最新の情報に更新		Excel 起動
1	実行	M	1 ステップ実行	,III	連続実行	4	チェック
$\boldsymbol{\times}$	クリーン						

表 4-1 ツールバーのボタン一覧

5. 動作設定一覧

5.1. 表示

5.1.1. 画面表示

起動した Excel を表示(する)または非表示(しない)に切り替えます。初期状態では必ず "非表示"として起動するため、この動作設定を使用しないと画面には表示されません。

(設定例)		(結果)			
THE ROLLING MANAGEMENT ファイル(2) 単数(2) シール(3) 日 は 日 日 10 (2) 「 アード(4日) 単数大法 パーフロ (4) 「日 10 (2) 「	17/22/00 ∧4/769 1 18 ∨4 9 × z 1807		4 N 8 D 2 4 N 8 D 2 日 日 王	10.12 10.12 1	100 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
 美元 美元後平秋日 支査局表示 美元後平秋日 支査局表示 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)「北山一茶二 (2十一日)」 (2十日) (2十日) (2十日) (211) (211)		17 17 18 年4 19 時点相当 19 時点相当 19 時点相当 19 時点相当 19 時点相当 19 時点相当 19 時点相 19 時点 19 日 19 日	125 W		1948 1948 1944 1944 1944 1944 1944 1944
+ ### + 7-9		22 11	18		
1 40 1 5-5 1		8 <u>+-11</u> 8 <u>+-11</u> 6			
		41 41 27.7	14	100	a st

表 5-1 画面表示の実行例

5.1.2. 表示倍率設定

アクティブになっているシートの表示倍率を詳細設定で指定した値(単位はパーセント)に 変更します。なお、この機能は詳細設定が空白になっているとチェック時にエラーになります。

(設定例)		(結果)
1940-2010년 Markasette 2948년 월립 19-80 년 대 월 12 월 18 월 7-1488 第第末主 4-28	1752-00 ALTHE 1 (B. M. 9 X 12 Min	
 ● 表示 ● 表示 ● 素示 ● 表示 ● 表示 ● 表示 ● 表示 ● 登録表示 ● ひゃージブレビュー表示 コーザー前定ビューをお ● 計算 ● ブール ● ブール<th>Net EXCELONY EMHERSE 1 BEDRATY FS 2 ARECHINE SI 1 Image: Si Image: Si</th><th></th>	Net EXCELONY EMHERSE 1 BEDRATY FS 2 ARECHINE SI 1 Image: Si Image: Si	
<u> </u>		

表 5-2 表示倍率設定の設定例

5.1.3. 全画面表示

起動した Excel を全画面表示にします。

(設定例)		(結果)
100000000 Materia 274Aの単語の 27-Aの 3 日本日日 日 日 日 10 日 7-MAB 新聞大王 イー280	772200 ∧4790 1 18 31 9 × 5 197	
	*** DCELENY 部地路窓 1 画型表示 する 1 単型振行表示 1	

表 5-3 全画面表示の設定例

5.1.4. 標準表示

起動した Excel を通常の表示状態に戻します。全画面表示した Excel を元に戻すのに使用します。

5.1.5. 改ページプレビュー表示

起動した Excel の改ページプレビューを表示します。

(設定例)	(結果)
EMELEDIDE MARGANE SHALED 5-AED 1750-201 AA708 E は 目 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	

表 5-4 改ページプレビュー表示の設定例

5.1.6. ユーザー設定ビューを表示

あらかじめシートに設定した"ユーザー設定ビュー"を表示します。詳細設定には表示する ビュー名を指定してください。なお、この機能は詳細設定が空白になっているとチェック時に 33 エラーになります。



表 5-5 ユーザー設定ビューを表示の設定例

- 5.2. 操作
- 5.2.1. カーソル移動

カーソルを指定した位置に移動します。詳細設定には移動先のセル名を指定してください。 詳細設定を空白にすると"A1"セルを指定したものと認識されます。

(設定例)				(結果))			
100000000000000000000000000000000000	1702/00 	√47₩ Ø×					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		400 M 400 M
 第二次の 第二次の 第二次の 第二次の 第二次の 第二次の 第三次の 第三次の 第三次の 第三次の 第三次の 第三次の 		14 DCELMAN 1 単応表示 3 カージル相称。	1944073 73 C25		44 9489 93.49 73.44 73.44	地式会社ペイクロ ホーニー版 単式(2023年7 加速の1003年7 加速の1003年7 1000 	<u>0.200</u> W		2848 101-001 479-00 479-00 10100-00 10100-00
+ 編集 + データ + データ	+1				P-31	844	**	80	
# 3-5 # 70m	1000				P-31		18		-

表 5-6 カーソル移動の設定例

5.2.2. カーソル相対移動

カーソルを現在位置から指定した方向に移動します。詳細設定のダイアログで移動方向と移 動量を設定してください。なお、この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラー となります。

(設定例)		(結果)
2010-00101X MARKAN 2014年日 単版日 2-4日 日 日 日 日 日 日 日 日 2-14月日 周期末生 イー31	1752/00 ∧4769 1.18.31.9.¥ 18.119.1	
※ 表示 ⇒ 増加 カージル相応の カージル相応報約 相逆形定 相逆形定 を用て入 る相定構 そ ワークシート き ファイム	*** Processory Difference *** 1 通知改善市 する 2 カージハダ目的の合称 上5 1 第二 カージハダ目的の合称 上5	
+ 編集 - データ - データ - (4)表	1	27 27 28 28 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20
- Edin		

表 5-7 カーソル相対移動の設定例

5.2.3. 範囲指定

指定したセル範囲を選択状態にします。詳細設定には選択するセル範囲を設定してください。 詳細設定を空白にすると"A1"セルを指定したものと認識されます。

(設定例)				(結果)			
1000000000000000000000000000000000000	9752/00 A4798 1 1 18 51 9 × 82 189				100 00 000	A 51 00 00.000 A 51 00 00 H	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100
# 表示 # 表示 ### ### ###### ###### ######		ielanda Dalifi Elina	19480752 72 540243	28 27 27 28 28 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	<u>単式会社ペイクログ シューター</u> 単成1455月1日 単式1555月7日 10月の1155月14 10月の1155月14 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15日 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 11月15 111115 1111111 11111111	1225.W	•	2.05 a.00. + 10 - 011 a.0 (0 - 01) 4.0 (0 - 7) 10.1 (0 - 7) 10.1 (0 - 7) 10.1 (0 - 7) 10.1 (0 - 7)
* CTAN + 細葉 + データ * 保護 + メール + その和	1			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	84.0	0.000		**
				 14 14 14 14 14 14 14 14		1.	No.	a si

表 5-8 範囲指定の設定例

5.2.4. 領域選択

指定したセル範囲を含むアクティブ領域を選択状態にします。詳細設定にはアクティブセル 領域の基準になるセルもしくはセル範囲を指定してください。詳細設定が空白の場合は現在の カーソル位置を基準としたアクティブセル領域が選択状態となります。

〔設定例〕			(結果)
7-148 (1993年) 7-14 日本日日(1993年) 7-14 日本日日(1993年) 7-14 日日(1993年) 1993年) 7-21	1752200 ∧4790 1:18:31.9 × RE:1017		
	*** No. EXCLUY 1 通知表示 2 地域北京 3 表示信年18宝	89488751 7-3 8491020 50	
			A CANADATA IN THE AND

表 5-9 領域選択の設定例

5.2.5. セル代入

カーソル位置のセルもしくは選択状態のセルに詳細設定で指定した値を代入します。

(設定例)				〔結果〕)			
274A(1) 単単位 2~4(1) ④ (よ ● 1) 日 日 日 日 日 アード明日 単数水注 ペー3) (※ 単寸 - カー20月1日日 - カー20月1日日 - 新生ます - 新生ます - 新生ます	4750240) 1 t (B (S) 822 kh/h (№ DCD.800 № DCD.8	194885 75 04544 26033.0277	046 942 942 94 94 94 94 94 94 94 94 94 94 94 94 94	100 112 100 -42 17 5.0 57 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 m m m m m m m m m m m m m m m m m m m		400 4
- セルベ入 - 名前定義 法 ワークシート - ジャイル - 日 (中前) - 平 總軍 - ジ テーク - ※ 保護	±			918A3		.225	80	Nik S
# 3-6 # 708		6 J.		#	1211			

表 5-10 セル代入の設定例

5.2.6. 名前定義

カーソル位置のセルもしくは選択状態のセルに詳細設定で指定した名前を定義します。
(設定例)				(結果)					
1940-1900 Markesette 2944년 道道 (1948년 2014년 년 대 문 대 대 1948년 1848년 27-1948년 南朝太王 (1-20	4752-00 ∧4768 1183-04 9 × R≣ 1817					10.00	1 ····································		4.702 8.	400 401 10 10 10
(※ 表示 一 かつりに初め カーリに初め ・ かつりに初め ・ のりに利用する他 報知知知 ・ のりに引 ・ のの ・ ののの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ のののの ・ ののの ・ のの ・ のの ・ ・ ・ のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ のの ・ ・ ・ ・ ・ のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ELBOY ALTI JUHAN ELA	日本語な話 する 日本5本 七山代入の文字列 20145	A R.C.A.A.B.A.B.A.B.A.B.A.B.A.B.A.B.A.B.A.B	44 MARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 29 RARO 20 RARO 20 RAR	Kalestau 19-8 Linewe Linewe Linewe Linewe Linewe Linewe	1.100			15 m R. 14 m m 14 m m 14 m m 14 m m
+ 編集 + データ				12		844				
王 保護 ネ メール キ その和	1				#-31 #-81			-		
					*1/510228		_	+	-	
				2.8	191.118/		1.			a si

表 5-11 名前定義の設定例

- 5.3. ワークシート
- 5.3.1. ワークシート切り替え

表示するワークシートを詳細設定で指定したシートに切り替えます。詳細設定が空白の時は 1番目のシートを表示します。

(設定例)		(結果)
EMILIEO LIDEC MARLINAUES 70-1A① 単第回 2-A① 回 は 目 日 和 四 7-M目目 単数水注 イーDB	1792-40 ∧4799 1 12 31 9 × z 449	X Construction State
日本 日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Mail ECCLANY BH4882 1 BASAT 72 2 79-52-1437 JL 1 Image: Arrow of the second secon	
		a continue de la cont

表 5-12 ワークシート切り替えの設定例

5.3.2. ワークシート選択

指定したワークシートの選択状態にします。それまでに選択されていたワークシートの状態も 維持されます。詳細設定が空白の場合はすべてのワークシートが選択状態になります。



表 5-13 ワークシート選択の設定例

5.3.3. シートの移動

表示されているワークシートを指定した位置に移動します。移動位置は詳細設定で指定した ワークシートの後ろになりますが、シート名の先頭に1バイト文字の"-"(マイナス)を指 定することで指定したワークシートの前に移動することができます。なお、この機能は詳細設 定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。



表 5-14 シートの移動の設定例

5.3.4. シートのコピー

表示されているワークシートを指定した位置にコピーします。コピー位置は詳細設定で指定 したワークシートの後ろになりますが、シート名の先頭に1バイト文字の"-"(マイナス) を指定することで指定したワークシートの前にコピーすることができます。コピー後は、新し く作られたシートが表示されていますので、後述のシート名の変更(5.3.7)を併用することで、 コピーしたシート名を任意に設定することが可能です。なお、この機能は詳細設定が未設定の 場合にはチェック時にエラーとなります。



表 5-15 シートのコピーの設定例

5.3.5. シートを閉じる

表示されているワークシートを閉じます。

(設定例) 	設定例) MERCINA MANAGEMENT MARCHARD 2-400 17/20-40 A4799 回ば日日 時間 118 4 9 ×					(結果)				
○ GF ME DT PAPE 10 10 アーMEE 展開大法 ページ訳 ド 表示 ド 掛竹 日 ワージョート ワージョート ワージョート マージットを削え ーシートの加た シートの加た シートの加た シートの加た シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ シートののた ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	z #179 	Ne EXCELANYN 1 単位のあって 2 ワークシート載用 1 ジートを示いた	(1940)/2 72 71			BCBERGIAND BCBERGIAND BCDER BCDER BCDER DATE	25.W		2 Ball	
- 5-+63表示 〒 2+1点 〒 2時 〒 連載 平 デーク ・	1				n 1 (7-31) 1 (7-31)	84.8	**	80		
					4 4 9 9440.118/		ъ	-		

表 5-16 シートを閉じるの設定例

5.3.6. シートの作成

開いているブックの最後尾に新しいワークシートを作成します。作成されたワークシートの 名前は詳細設定で指定した名前が付けられます。

(設定例)				(結果)									
100000000000000000000000000000000000	オデルス(日) 1 日 13 15日 11日	∧4790 ⊈ <mark>≯</mark>			7 5 8	4.2	5 51 B	5 5	1948 1925-11	altin Altin 13			
年表示 + 掛け 日 0-50-h - 0-50-h - 0-50-kの増れ - 0-50-kの増れ	-	Ne DCELIM 1 BIORT 2 SHAMIDE	TLUT	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
シーション・Filem シートのコピー シートのコピー シートの内定 シートの大変更 シートをの変更	<u></u>												
9-+6詳表示 〒27代本 正印刷 〒編集 〒データ 2				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
							Di.		a				

表 5-17 シートの作成の設定例

5.3.7. シート名の変更

表示されているシートの名前を詳細設定で指定した名前に変更します。なお、この機能は詳 細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。



表 5-18 シート名の変更の設定例

5.3.8. シートを表示する

詳細設定で指定したシートを表示状態にします。表示されているシートは印刷の対象になります。詳細設定が空白の場合はアクティブシートが選択されたことになりますが、何も起こらないのと同等となります。

5.3.9. シートを非表示

詳細設定で指定したシートを非表示にして隠します。非表示となったシートは印刷の対象 になりません。詳細設定が空白の場合はアクティブシートが非表示になります。

(設定例)	設定例)				(結果)				
2014年1日1日 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1752-49 1 (B) 5 12 (M)	∧4790 1				100 B 10 B 100	A 51 80 0	11.72	
※ 表示 ※ 掛竹 ※ ワーウシート フーウシート総約 ・フーウン・ト総約 ・フーウン・ト総約 ・フーウン・ト総約 ・シートの制約 ・シートの利用 ・シートの別の ・シートの別点 ・シートのの成 ・シートをの変更	- - -	No. ECELMY 1 曲四表示 3 少一托別表示	1948055 72 72		27 前 27 前 前 前 前 前 前 前 二 第 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	<u>株式会社マイクロ ステレーの</u> 単成1045月1日 期に1045月1日 加速の世界形式A		•	235438 + 10+-014 4 4 10 - 7 11-114 - 10 10-110 - 10
- 9-16第5190 - 9-16第表示 王 2mlA - 王 印刷 -	1				22 21 21 21 21	844	**	10	-
+ <u>1</u> +					40 <u>F-11</u> 40 40				
					STOP		1.	1.0	ALS!

表 5-19 シートを非表示の設定例

- 5.4. ファイル
- 5.4.1. ブック読込

詳細設定で指定したファイルを読み込み、ブックとして追加します。なお、この機能は詳細 設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。

(設定例)					(結果))			
2016年1月1日 - 2017 日本日日日 - 2017年 日本日日 - 2017年 - 2017 アート4月日 - 第1888年1月 - 2018	1772/0 1 (2 5) 2 107 2 107	4 ×		In the second				e valte bite okostere sta kite k	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
年 表示 王 時代 王 9つショート 三 ファイル - ファイル構え - ファイル構え - ファイル構え - マイル構え - 教育でする大体構入 - 名明合けので見な - 新始ポージとして講座	+	14 DCELMAN 1 画型表示 3 プック後近	1944055 73 9454-14		22 27 27 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28	BC261-7. 10-1-5 SELVATION B12.0239 36070380 36070380 71,101	2.5.W		2.02.6.00 * 10- 0014 4.000 * 10 4.000 * 10 10- 00 * 10 10- 00 * 10
11 CM + 総工 テーク 5 保護 ネ メール + その和	1				20 10 11 12 12 12 11 11 12 11	844	**	80	
					11 12 14 14 14 14 10 17 17	0	1	No.	a si

表 5-20 ブック読込の設定例

5.4.2. ファイル読込

詳細設定で指定したファイルを読み込み、表示しているブックの最後尾に読み込んだファイ ルのすべてのシートを挿入します。ファイル読込を行った後の表示シートは読み込んだファイ ルのアクティブシートになります。なお、この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時 にエラーとなります。



表 5-21 ファイル読込の設定例

5.4.3. ファイル挿入

詳細設定で指定したファイルを読み込み、現在のカーソル位置に読み込んだファイルのすべ てのシートに含まれる値を挿入します。ファイル挿入を行った後のカーソル位置は挿入したデ ータの後方になります。なお、この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーと なります。

A1700	(T) X	-D/M
× 0		10 ARA
16 EDCELADYY 即時間次記 1 前面加速行 する 2 カージロ科制作 ただ 3 プロイロ目標入: 54(Acces		
	Ne EKCELIKYY IVHIIPSE 1 IIIIIEEET 75 2 h-Yinfiiith E2 3 h-Yinfiith 27 3 h-Yinfiith 27	

表 5-22 ファイル挿入の設定

5.4.4. 書式付きファイル挿入

詳細設定で指定したファイルを読み込み、現在のカーソル位置に読み込んだファイルのすべ てのシートを挿入します。フォントなどの書式に加え、各セルの幅や高さも合わせて挿入しま す。ファイル挿入を行った後のカーソル位置は挿入したデータの後方になります。なお、この 機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。

(設定例)		(結果)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17/12/00 ∧47%0 1:18 ×1 ♀ × z mm	
# 表示 # # 操作 # # ワーウンート # ファイル - ファジ扱い - ファジ扱い - ファイル構み - 名利分付けて得存 960イーンとして保存 ※ ビボー # デーウ # メール *	** 計画面影音 詳細胞電 1 画面影音 #2 2 力='y14時的 D2 1 書式(計算2):(A	

表 5-23 書式付きファイル挿入の設定例

5.4.5. 名前を付けて保存

表示しているブックを詳細設定で指定したファイル名で保存します。詳細設定が空白の場合 は保存ファイル名を入力するダイアログが表示されます。

設定例)		(結果)
MERODAK MANANAN HARD (#1970) 가~400 년 한 6월 19 19 19 18 19 19 가~448 1819(8월) 서~2003	772200 A4790 1 19 31 9 × 2 100	Control and point support of the support of
※ 表示 ※ 増竹 ※ 5-55-ト ビラ・75-16 ジャイル ・ファクルの込 ・ファイル様え 書式打きファイル様入		
- 名前を打けて後年 Webページとしてば年 ※ 印刷 ※ 確実 ※ テータ ※ 保護 ※ ター約 ・		Щий Маликов Блан ()—9;—4. 917. 185 кВ 108 кВ — 18 314 ⊒. 23-5

表 5-24 名前を付けて保存の設定例

5.4.6. Web ページとして保存

表示しているブックを詳細設定で指定したファイル名で web ページとして保存します。詳 細設定が空白の場合は保存ファイル名を入力するダイアログが表示されます。

設定例) (TESTING NUMBER HND #ND >-+0 +	75-12-00 AA799	(結果)		
2 4 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		アドルマンコンコンドの時 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ <th 100<="" <="" =="" td=""><td>204 204 201 201</td></th>	<td>204 204 201 201</td>	204 204 201 201
 ※ 時19 ※ 90-05-ト ※ 79-04 ※ 79-04	** 1 単位 第二 第二 2 986/ページとして、 16行2/000 1	4 HB HERED THE (A 100 ABUS) 70 (A 244) 70 (A 24) 70 (A 24) 70 (A 24) 70	81 81 81	
- San Sritit (18年 - Mab 4- ジとして18年 王 6年 王 第二 王 7-5 王 第一5 王 5-5 王 5-5		1 後0470451を載用 72548 (調 37 2.424-	5	

表 5-25 Web ページとして保存の設定例

5.4.7. CSV ファイルとして保存

表示しているブックを詳細設定で指定したファイル名で CSV ファイルとして保存します。 詳細設定が空白の場合は保存ファイル名を入力するダイアログが表示されます。

設定例)					(結果)				
HAD 編集日 5-4日 オフルAD AA769 日本日 編集日 5-4日 オフルAD AA769 日本日 田 田 町 町 1 1 1 日 日 ダメ ア-54月 編集大王 イー38回 新作									
9一位明白 開始次生 パー2003	e ann				2.0	P-17 MIR	Parint		
※ 表示 ※ 表示 ※ 対い ※ ワーウシート ※ ファイル ジャイル経込 ・ファイル経込 ・ファイル経込 ・ファイル経入 ・参加りて1575 ・参加りて1575 ・参加りたくには年 ・ ・ ・ のワッイルとして19月 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		Ne EXCLUSION 1 BROAT 2 COUTHING	Lifeance TS Lift.cos		ар на ар ар читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана читана	3+(4-3)(43) 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1019 11780 1018 11780 1019 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780 1018 11780	2011-04-021 16 2011-04-021 15 2011-06-021 15 2011-06-06 17 2011-06-06 17 2011-06-06-06-06-06-06-06-06-06-06-06-06-06-		

表 5-26 CSV ファイルとして保存の設定例

5.4.8. XML ファイルとして保存

選択範囲を詳細設定で指定したファイル名で XML ファイルとして保存します。詳細設定が 空白の場合は保存ファイル名を入力するダイアログが表示されます。また選択範囲が空の場合 は、アクティブシート全体を XML 化します。

(設定例)			(結果)			
가서() #10 가서() 1772/0 건강모양 18 18 1 1 1	^.4769 1 31 ∛ ×	xicix.		くまで メカロ・		
7-10月日 展開大王 パー3R22 動作 ※ 表示 ※ 分・ ※ ワーウシート ※ フ・ウル ※ ない ※ 本 ※ ない ※ 本 ※ から ※ たい ※ た	Ne EXELINY 日 1 単応応示 1 2 1940.7~(121.2~	HallAS	All All Area All All Area Mill All All Area Mill All All Area Mill All All Area Mill All All All All All Area Mill All All All All All All All All All	B+22 B-30 14:03 Horssoft Event 7. 14:03 Horssoft Event 7. 14:03 Horssoft Event 7. 14:04 Horssoft Event 7. 14:05 Horssoft Event 7. 14:06 Horssoft Event 7. 14:07 Horssoft Event 7. 14:08 HORSSOFT F. 14:08 HORSEE Service 14:09 HORSEE Service 14:09	201 00 1000000 100000000000000000000000	-

表 5-27 XML ファイルとして保存の設定例

- 5.5. 印刷
- 5.5.1. 印刷範囲設定

指定したセル範囲を印刷範囲として設定します。詳細設定には選択するセル範囲を設定して ください。詳細設定を空白にすると現在の選択範囲を印刷範囲として設定します。

設定例)			(結果)
NEEDLINE Marcourts 24人心 単配 2 2-人の 日 は 日 日 和 約 三 2-14月 単数大法 パー28	1752×00 ×1769 1.18.31.9 × 12.180		
本 表示 本 時代 ※ ワークシート ※ ワークシート ※ 75年 ● 50時代した1 ※ 50年代期 ※ 5		2944022 73 72 0401000 72 10	
12 3-16 12 60m			

表 5-28 印刷範囲設定の設定例

5.5.2. 印刷プレビュー

表示されているシートの印刷プレビュー画面を表示します。

(設定例)				(結果)				
MERCIAN MARINE アームロ ビームロ ビームロ ビームロ ビームロ マームロ ボル ボル ボル ボル ボル	9702200 1 18 34 Rez 19479	4799 9 ×			Net of the	PEN	1	
 ※ 表示 ※ 時行 ※ ワーウシート ※ ワークシート ※ ワークシート ※ ワークシート ※ ワークシート ※ 印刷 ● 印刷灯以ぞえ~ ● シートCOTRI ● シートCOTRI ● シートCOTRI ※ シートOTRI ※ ジートOTRI ※ ジート ※ 第一時 ※ デート ※ 第二時 ※ デート ※ 第二時 ※ デート 	- - 	NE BOOLANY 1 BADATI 2 BARTHELS	TE TE		5.0%. ***			

表 5-29 印刷プレビューの設定例

5.5.3. シートの印刷

表示されているシートを印刷します。詳細設定には印刷に使用するプリンタ名を指定することができます。詳細設定が空白の場合はデフォルトプリンタを使用して印刷を行います。

5.5.4. 全シートの印刷

ブックに含まれるすべてのシートを印刷します。非表示になっているシートは印刷されません。詳細設定には印刷に使用するプリンタ名を指定することができます。詳細設定が空白の場合はデフォルトプリンタを使用して印刷を行います。

5.5.5. 印刷ダイアログ表示

印刷のダイアログを表示して、操作者の入力を待ちます。詳細設定には印刷に使用するプリン タ名を指定することができます。詳細設定が空白の場合はデフォルトプリンタを使用して印刷 を行います。

設定例)		(結果)
	475-2-00 - 44798 1 12 51 57 × RE 1817	10.0 10.0 00.0 (µ1000 VF-000 10.0 000 (µ1000 VF-000 10.0 000 -000 (µ-000 10.0 000 (µ100 VF-000 10.0 000 (µ100 VF-000 10.0 000 (µ10 10.0 000 (µ10 10.0 000 (µ10 10.0 000 (µ10 10.0
18 第二 第 第二 第 3月15 第 3月-55-1-1 第 2月-45 第 3月-45 第 3月 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-45 第 3月-5 第 3月-5 第 3月-5 第 3月-5 第 3月-5 第 3月-5 第 3月 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		
- 20-7-00日朝 - 1080年770万美元 ※ 編集 ※ データ 日 保護 ※ メール ※ その他		

表 5-30 印刷ダイアログ表示の設定例

- 5.6. 編集
- 5.6.1. 切り取り

詳細設定で指定した範囲を切り取ってクリップボードに転送します。詳細設定が空白の場合 は選択範囲が切り取りの対象となります。

(設定例) 	TTAN	A8769			(結果))	1 HLP2	
12 CF 12 CF 12 05 12 7-1488 MWX 12 4-38	1 (BL 54) 22 (M/2) 23 (M/2)	g ×		1	A	1 x		1 1 (
は、ワージケート ※ フィイル ※ 印刷 ※ 印刷 ・ 2010 ・ 2010	+	Ne EXCELENT 1 BROAT 2 AND AT 3 MOTO	20000000 172 1027000 840		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			「新会変」 ********** 47第15年 11月1日 - 11 10月1日 - 11
一行様入 一行様入 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一					10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	ACALY(SUUSS 4	sh	**

表 5-31 切り取りの設定例

5.6.2. コピー

詳細設定で指定した範囲をクリップボードに転送します。詳細設定が空白の場合は選択範囲 がコピーの対象となります。

(設定例)				(結果)		
70-14日 Marine 10 - 4日 - 4日 - 4日 - 14日 -	アルエルロ 1 直 13 1 前作	∧7%) ⊈ ¥			1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4000 4000 10 10 10 10 10
ま ワークケート ま ファイル ま 石和) と 編集 と 編集 と 第 の アビー - ROTITS - SyStABOVISH - ROTITS - SyStABOVISH - ROTITS - SyStABOVISH - ROTITS - ROTTS - ROTTTS - ROTT		No DECEMPT 1 Materia 2 DECEMPT 3 Monto	194805 173 1027005 840	10 17 18 4-6 18 Malan 18 1404 18 75-04 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	<u>単式会社マイクロリンク</u> (1)-1-式 (1)-1-式 (1)-1-式 (1)-1-1-1 (1)-1-1-1 (1)-1-1-1 (1)-1-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1-1 (1)-1		20-68.
行権入 - 73権入 - 73権入 - 93年入 - 937 - 憲単の知り付け ・	1			28 24 25 25 26 26 26 26 26 26 26 26 26 26 26 26 26	<u>株式会社マイクロリンク</u> 様 	80	**

表 5-32 コピーの設定例

5.6.3. 貼り付け

切り取りまたはコピーなどでクリップボードに転送したデータを詳細設定で指定した位置 に貼り付けます。詳細設定が空白の場合は選択範囲が貼り付け先となります。

(設定例) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1	772/9 1 1 1	∧1709 Ø ×	-	結果) 17 58 470	1-10 N.P.	1470	10
デート映画 単数次法 パーコロ ドワージ/ート ・ デフー/A ・ マフー/A ・ マフー/A ・ マリの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		Ne DCBURNY 1 BADATI 2 32- 1 Martis	(2948876) 72 827001 834	*6 %3.82 81.89 73.87 *8 %3.97 *8 %3.97	取応会社マイクロジョン コードーボ 単につかり用 部につかり用 部につかり コードーボ 中の「中くして」 キャントの日 部にしたい、 キャントの日 部にしたい、 キャントの日 部にしたい、 キャントの日 第二日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	注文 2.5.W 2.5.W	•	8 87 7 87 m M 4 8 9 m M 4 8 9 m M 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
- 行神入 - 列神入	1			2-31	84.8	18	80	
## 08/20101 _				#-#1	0			

表 5-33 貼り付けの設定例

5.6.4. データだけを貼り付け

切り取りまたはコピーなどでクリップボードに転送したデータを詳細設定で指定した位置 に貼り付けます。ただし、貼り付けられるのはデータのみとなります。詳細設定が空白の場合 は選択範囲が貼り付け先となります。

(設定例)			(約	结果)			
	17/2/00 / 48799 1/19/30 9 × 2 800	- Interest				8 14.100 5 1-1 0x0 8	10
1 フランド ▲ 1 フランドル 1 日本(1) 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	Image: The second se	73 827000 834	CLARKEN MARK	44 44 44 44 44 44 44 44 44 44			2040 ********* 479*** 10****
17律入 - 万律入 - 約年入 - 9月入 	1			848 9-11 9-11	HR.	80	
			11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	e.a.a.097	(a)	No.	

表 5-34 データだけを貼り付けの設定例

5.6.5. 書式だけを貼り付け

切り取りまたはコピーなどでクリップボードに転送したデータを詳細設定で指定した位置 に貼り付けます。ただし、貼り付けられるのはデータ以外の書式のみとなります。詳細設定が 空白の場合は選択範囲が貼り付け先となります。

(設定例) NACESIENC MARGINES 7HARD MARGINES	TUDO 14780	لم		(結果)		1. 1970 - 14
 □ GF 目 GP 目 (1) 〒 - 1×4月日 単数大法 パークBC ■ 7-1×4月日 単数大法 パークBC ■ 7-1× ■ 7-1	1 (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	19440/52 #1 027001 834		100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(1)25 W	23643
第2 - 行弾入 - 行弾入 - 約年入 - 約年の現入 - 約7 - 副後の取り付け 王				848 2-11 2-11	**	80 80
			1 4 M	t 3480.414.087 217 10	is	-

表 5-35 書式だけを貼り付けの設定例

5.6.6. 削除

詳細設定で指定した領域を削除します。詳細設定が空白の場合は選択範囲が削除範囲となり ます。削除によって空いたスペースには右側にあるセルを左にシフトして埋めます。

(設定例) 1900-1000K Marcador 294.40 編集9 2~40	17×2×01 ~4708				(結果)		- 1-10 hur	19 14/10 11 11/1	-12 alt
日本日日 単数 三 アー対称 周期末注 ハー28	1181 14 14 × 158 1417				A	-			
					24		注文	*	
まワージシート キ 27イル 主 印刷		1810'9 299482 171 72	8		10 II	(PARTHARIS)			
会 編集 - 471年) - ユビー 秋川代は	<u></u>	8270	1		1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	******** #####S&441-0-1			4.98 /
データだけを起うつけけ 書記でだけを起うつけけ 利用を 加入	11				N APAS	¥1.2	#1, #N		
· 行權入 - 列權入				- 11	-	8.1.6		*0	*3
ジネ入 ジリア 					4 <u>7-11</u>			-	
					-				
					Concentration 2017		10	10	

表 5-36 削除の設定例

5.6.7. 挿入

詳細設定で指定した領域に空白のセルを挿入します。詳細設定が空白の場合は選択範囲が挿 入範囲となります。挿入範囲に元々あったセルはシフトされます。



表 5-37 挿入の設定例

5.6.8. 行挿入

詳細設定で指定した領域に空白のセルを挿入します。詳細設定が空白の場合は選択範囲が挿 入範囲となります。挿入範囲に元々あったセルは下方向にシフトされます。

(設定例)			(結果)		
10月12日20日本 Markandta 27月A日 単数日 2-A日 3 日 は 日 日 昭 紀 日 9-14月 単数大士 4-3日	1772-00 - 44799 1 18 - 9 - 8 2 - 817 2 - 817	×CL.			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* 1000 100751 - 10 100751 - 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
ま ワークシート モ ファイル モ 引用 モ 編集 - セリ取り - コピー - シークになり取り - コピー - マークになりいたけ - データだけを見かいたけ - 新たしておなったけ - 新たしておないたけ - 新たしておないたけ	→ 1 #30877 1 #30877 1 #1	1948253 73 827031	27 27 28 28 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	唐式画集マイクロ 室道道電視200 開設電電源 記載であるの	<u>0 22 8</u> M	2004) 744-001 478740 878740 878740 1270540 1270540 1270540
- 行種入 - 万種入 - 50ページ律入 - 50パージ律入 - 917 - 載後の取り付け <u>・</u>			29 41 9174 41 41 41 41 41 41 41	91Y),10	0.805	42 43
			H AANN ATA	846	1.	and the second second

表 5-38 行挿入の設定例

5.6.9. 列挿入

詳細設定で指定した領域に空白のセルを挿入します。詳細設定が空白の場合は選択範囲が挿 入範囲となります。挿入範囲に元々あったセルは右方向にシフトされます。

(設定例)			(結果)				
かれの 単語の か-1の し は に の の の の の の の の の の の の の	1702/0 14766 1 18 14 9 ×	ia.			1 8 2	14.P2	alti alti
デーが項目 開発大法 パーフ訳	5 MP		22 12 23		注文		12
ま ワークシート キ ファイル 主 印刷 日 編集	1 Math.BCELMON 1 Math.BCELMON 2 7518 λ	19480250 73 027031	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.			#4 1	August 1
- いりたり コピー - Mの(10) データだけを思わりつけ まったがけを思わりつけ	<u></u>		a star	\$1,303.	200	,	208427 4418177 111.0214 1011014
新健 導入 (管理入 	<u>+</u>		A NACE	844		80	
	1		8 (2-31) 6 (2-11) 61				
			11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		ъ		

表 5-39 列挿入の設定例

5.6.10. 改ページ挿入

詳細設定で指定したセル位置で改ページをするように指定します。詳細設定が空白の場合は 現在のカーソル位置に改ページ記号を挿入します。

(設定例)				結果))			
274.40 単版印 2~4.00 3 日 ば 日 日 日 和 和 王 ア-148日 単数大主 14-28	1752-01 A4799 11週回 9× 変動7		100 B		10 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	調査の	1175 11.75	48. 48. 1.1 1.1
■ ワージケート = ファイル = 日期 = 編集 - マジ取り - フピー - APJ (TC) - デッズビラを起の(PC) - 考えていを起の(PC) - 報知 - 報知 - マジンを起の(PC) - ポス		194823 73 A0	A IL LOOP AND A REAL OF A REAL OF A	44 96282 83.88 75.84 75.84	<u>株式会社マイクロリン ハードーボ</u> ドロンボーボ 開たこれに発行 開かるこの形成A 	2.W		20-000 400-000 400-00 10-00-00 10-00-00
- 行種入 - 行種入 - 約種入 - 約年 - 均準入	1		17. 14. 14.	-11 6 - 11	843	18	80.	
	1			04.328.0	0	10	10 BR	H.

表 5-40 改ページ挿入の設定例

5.6.11. クリア

詳細設定で指定した領域のすべてのデータをクリアします。詳細設定が空白の場合は選択範 囲がクリアする範囲となります。



表 5-41 クリアの設定例

5.6.12. 画像の貼り付け

表示されているシートの選択範囲に詳細設定で指定した画像ファイルを貼り付けます。なお、 この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。



表 5-42 画像の貼り付けの設定例

- 5.7. データ
- 5.7.1. 並べ替え

選択されている範囲に対して並べ替えを行います。詳細設定には並べ替えのキーを列名を使 用して 3 つまでカンマ区切りで指定することができます。また列名の先頭に 1 バイト文字の "-"(マイナス)を指定することで、その列を降順で並べ替えることができます。詳細設定 が空白の場合には並べ替えのダイアログボックスを表示して、操作者の入力を待ちます。

(設定1例)	(結果)
MEDDINK Mekania Section 2018 Section 2018	
 ※ 表示 ※ 表示 ※ 分から ※ クックシート ※ クックル ※ クックル ※ 日本 ※ 日本<	

表 5-43 並べ替えの設定例

5.7.2. オートフィルター

選択されている範囲に対してオートフィルターを行います。詳細設定にはオートフィルター を実行するためのパラメータをカンマ区切りで4つまで指定することができます(表 5-44)。 詳細設定が空白の場合は Excel のオートフィルター機能が ON になるだけです。

> オー	・トフィルタ	アーのパラメータ									
1番目	フィルタ	フィルタの対象となるフィールド番号を整数で指定します。フィールド番号は左									
	端から始ま	端から始まり、もっとも左端のフィールド番号は "1"となります。									
2 番目	抽出条件。	となる文字列 (" 101 " など) を指定します。" = " と指定すると、空白									
	セルが抽ば	出され、" <> " と指定すると空白以外のフィールドが抽出されます。こ									
	の引数を行	省略すると、抽出条件は All になります。									
3番目	抽出演算	子を指定します。使用できる抽出演算子は以下の通りです。									
	AND	第2抽出条件との AND を取ります。									
	OR	第 2 抽出条件との OR を取ります。									
	TOP10I	上位項目を抽出します。抽出数は抽出条件で指定します。									
	BOT10I	下位項目を抽出します。抽出数は抽出条件で指定します。									
	TOP10P	上位パーセントを抽出します。抽出数は抽出条件で指定します。									
	BOT10P	下位パーセントを抽出します。抽出数は抽出条件で指定します。									
4 番目	第2抽出	条件を指定します。抽出演算子が " AND " " OR " の場合に有効です。									

表 5-44 オートフィルターのパラメータ



表 5-45 オートフィルターの設定例

5.7.3. 集計

選択されている範囲に対して集計処理を行います。詳細設定には集計処理を実行するための パラメータをコロン(:)区切りで3つまで指定することができます(表 5-44)。詳細設定が 空白の場合は集計処理のダイアログボックスを表示して、操作者の入力を待ちます。

▶ 集計	集計処理のパラメータ								
1番目	集計方法を	指定します。使用できる集計方法は以下の通りです。							
	AVG	平均値を集計します。							
	CNT	データの個数を集計します。							
	CNTNUM	数値の個数を集計します。							
	MAX	最大値を集計します。							
	MIN 最小値を集計します。								
	PROD 積を集計します。								
	STDEV 標本標準偏差を集計します。								
	STDEVP	標準偏差を集計します。							
	SUM	合計を集計します。							
	VAR	標本分散を集計します。							
	VARP	分散を集計します。							
2 番目	集計処理の	基準となるフィールド番号を整数で指定します。フィールド番号は							
	左端から始れ	まり、もっとも左端のフィールド番号は "1"となります。							
3 番目	集計処理の	対象となるフィールド番号を整数で指定します。フィールド番号は							
	左端から始れ	まり、もっとも左端のフィールド番号は"1"となります。複数のフ							
	ィールドを	指定する場合にはカンマ区切りで指定します。							

表 5-46 集計処理のパラメータ



表 5-47 集計の設定例

5.7.4. テーブルの更新

操作しているブック上にあるすべてのテーブルを更新します。 主にピボットテーブルや SQL クエリに対して使用します。 5.8. 保護

5.8.1. 全シートの保護

すべてのシートを保護して書き込みなどを防止します。詳細設定には保護のためのパスワードを指定します。詳細設定が空白の場合はパスワード無しでの保護を行います。

表示 (第1) (1-2):	* 1 BOAT	104825		
77·1ル 町刷 編集	1(+-) = ==================================	1 m		
7-9 保護 - 20-10保護 - 4-0-10保護	+1			
シートな(第2巻 - シートな(第2巻を約7巻 メール				
608	1			

表 5-48 全シートの保護の設定例

5.8.2. 全シートの保護を解除

すべてのシートにかけられている保護を解除します。詳細設定には解除のために必要なパス ワードを指定してください。パスワードがかけられていないシートであれば詳細設定を空白に してください。

5.8.3. シートの保護

表示されているシートを保護して書き込みなどを防止します。詳細設定には保護のためのパ スワードを指定します。詳細設定が空白の場合はパスワード無しでの保護を行います。

5.8.4. シートの保護を解除

表示されているシートにかけられている保護を解除します。詳細設定には解除のために必要 なパスワードを指定してください。パスワードがかけられていないシートであれば詳細設定を 空白にしてください。

5.9. メール

5.9.1. メール送信

生成した Excel ファイルをメールで送信します。宛先が指定されていない場合は送信用のウ

ィンドウが表示されます。

設定例)		(結果)
MERCINE MERCINE HAE 単配目 2-4日 日 日 日 日 和 紀 日 ア-148日 単数本主 (1-3	- 175-127回 - A4799 日1:18:51:19 × 18:21 時7:1	
# 表示 # 接待 # 57-63 # 57-64 # 47-64 # 47-84 # 47-84 # 5-5-5 # 5-5-	** No. EXCELENT Difference 1 BUDATI F3 ** ** ** 1 BUDATI F3	Const - Just Carles Alt.

表 5-49 メール送信の設定例

5.9.2. メール宛先設定

メール送信(5.9.1)を実行した時の送り先(To:)を指定します。なお、この機能は詳細設 定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。

5.9.3. メール件名設定

メール送信(5.9.1)を実行した時の件名(Subject:)を指定します。なお、この機能は詳細 設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。

- 5.10. その他
- 5.10.1. 検索

詳細設定で指定した文字列を検索し、見つかった場所にカーソルを移動します。通常、選択 範囲を検索範囲としますが、範囲が選択されていない場合(単一セルが選択されている時)は すべてのセルに対して検索を行います。

(設定例)				(結果	!)			
19401301018 Markester 2741年日 単数日 2-400 日 日 は 日 日 和 昭、三 27-148日 単数大王 パー280	アルスロ 1 週 3 4 1 明79	∿17₩ Ø×				10 1-10 10 PP 1 4 51 副日 日 日 文		4000 4004 10 10 10 10
 ※ 表示 ※ 掛け ※ ワーウシート ※ ワーウシート ※ たい刷 ※ ボータ ※ ボータ ※ 第二県 ※ テー県 ※ その明 		NE EXCELINY I BEDATI	(19482) 73 1942	20 27 28 28 28 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	BCall-Class Science BELOCIAL BELOCHE BELOCHE BELOCHE DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBER DECEMBE	2023 W		2.0-6.00 + 10-001 4.000 + 10 11-00 + 10 11-00 + 10
90日 - ブラウザでブレビュー - マウロ経動 - 外部アプリケーションを訪れ - イメージ語を換え - Ecold 7				20 20 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	848	**	80	
				10 10 10 10 10 10 10 10	287	14	No.	a st

表 5-50 検索の設定例

5.10.2. ブラウザでプレビュー

開いているブックを Web ブラウザでプレビュー表示します。

(設定例)		(結果)
2012年1月1日日日日日日日日 27月1日日日日日日日 日日日日日日日日日 日日日日日日日日日日 7月1日日日日日日日日日 7月1日日日日日日日日日 7月1日日日日日日日日日 7月1日日日日日日日日日 日日日日日日日日日日	752-00 へい769 1 直 53 - ダメ 1 第15 -	X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X
 第二次 第二次		左文● <u> 株式会社マイクロジンクの</u> *4 11-10-2 1月 #1.450 第11-10-11-2 0月 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.450 #1.45
- 5999775-75-21- - 720日紀和 - 外部アフカラーション和助 - イメージ語が見た - Excellが了	1	824 28 80 8) (-5) (-7)

表 5-51 ブラウザでプレビューの設定例

5.10.3. マクロ起動

登録されているマクロを実行します。詳細設定には実行するマクロ名を指定してください。 なお、この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。

5.10.4. 外部アプリケーション起動

詳細設定で指定したプログラムを実行します。パラメータなども指定することが可能です。 なお、この機能は詳細設定が未設定の場合にはチェック時にエラーとなります。 5.10.5. イメージ置き換え

選択範囲に書かれたセルの情報からイメージファイルへの置き換えを行います。詳細設定に はイメージファイル名と判別するためのキーワードを指定します。

(設定例)	(結果)
1000000000000000000000000000000000	元のシート
※ 表示 ※ 特許 ※ ワーウシート … Net EXSLation Instance ※ ワーウシート … … … … ※ FURI ※ 原題 ※ 原題 ※ 原題 ※ 原題 ※ 原題 ※ 方ちち … … … … ※ SFA …	
選択範囲中のセルを検索し、先頭に"\$"のあるもの を抽出します。そして、"\$"以降の文字列をファイ ル名(右の例では"サンプル.jpg")として、該当セ ルにイメージを貼り付けていきます。	

表 5-52 イメージ置き換えの設定例

5.10.6. Excel 終了

起動した Excel を終了します。この機能が実行されない限り、起動した Excel が自動的に終 了することはありません。

5.11. エイリアス

すべての詳細設定にはエイリアスによる置き換え機能が使用できます。設計時には判断できな い全体のページ数や、日付・時間などを指定することができます。

%_CF%	設定ファイル名
%_SF%	シートファイル名
%_DT8%	日付文字列(YYYYMMDD)
%_DT6%	日付 6 桁(YYMMDD)
%_DTYM4%	年月 4 桁(YYMM)
%_DTMD4%	月日 4 桁(MMDD)
%_DTY4%	年 4 桁(YYYY)
%_DTM2%	月 2 桁(MM)
%_DTD2%	日 2 桁(DD)
%_TM6%	時間 6 桁(HHMMSS)
%_TMHM4%	時分 4 桁(MMSS)
%_TMMS4%	分秒 4 桁(MMSS)
%_TMH2%	時 2 桁(HH)
%_TMM2%	分 2 桁(MM)
%_TMS2%	秒 2 桁(SS)
%_P%	総ページ数
%_CP%	処理ページ数
%_LR%	最終行
%_LR+%	最終行+1
%_LC%	最終列
%_LC+%	最終列+1
%_LCE%	最終セル
%_LSR%	アクティブセル領域の最終行
%_LSR+%	アクティブセル領域の最終行
	+1
%_LSC%	アクティブセル領域の最終列
%_LSC+%	アクティブセル領域の最終列
	+1
%_LSCE%	アクティブセル領域の最終セ
	ル
%セル指定%	指定したセルの内容(セル参
	照)
%数字%	コマンドラインで指定したパ
	ラメータ(数字はパラメータの
	順序と同じ)

表 5-53 エイリアス一覧

6. チュートリアル

ここでは実際の作業を通して、本プログラムによるシート作成を説明していきます。最終的 にはこのようなシートを作成することを目的とします。ただし、データファイルのレコード数 が未定なので固定した表をあらかじめ作れないという制約があるものとします。(図では4レ コードだった場合の結果です)

🛃 Mi	crosoft E	Excel - MXLC4	Bxla					_	
1817	7r1NE) 編集(E) 表	示心 挿入の	書式の)ウ	一ル田 データ	(11) ウルドウ	じ へけじ	-	1 a x
	i 🖉 😹	a 🗟 🔁	🌮 🖻 🖻	10 r 🍓	Σ f= 🛃	🏙 😨	* MSPT?	っク	* *
	A1	*	=						
	A	B	C	D	E	F	G	н	
1		A	В	C	D	E	合計		
2	1	100	200	150	500	275	1225		
3	2	300	150	600	222	1500	2772		
4	3	260	100	450	300	650	1760		
5	4	900	70	4500	3000	100	8570		
6	合計	1560	520	5700	4022	2525	14327		
7									
8									
9									- 8
10									
11									
12									
13									
14 4	H/S	heet1 (Shee	t2/Sheet3/	/	1	4		00	•
372	作						NUM		

図 6-1 作成するシート

6.1. 準備

本プログラムで設定作業を行う前に、あらかじめシート作成のベースになる"雛型シート" とシートに展開する"データファイル"を作成しておく必要があります。

" 雛型シート " の作成は通常の Excel シート作成で行います。このチュートリアルでは以下 のようなシートを作成しました。列と行それぞれの合計を出すようにしています。また A 列は 連番を出すようにしました。

E Mi	crosoft	Excel - 表計3	ž.xla					_ 🗆 🗵
181	77-1NE)編集(E) る	転心 挿入(◎ 書式(2) %	ァールの デー	ぬりウルドウ	260 NIFE	_ @ ×
	🗳 🔒	8 8 3	L 🖤 🖻 🖻	🛯 🕬 - 👹	,Σ f= 🛃		· 안 MS P크카	oʻz • 🖗
	A1	*	=					
	A	В	С	D	E	F	G	н
1		A	B	C	D	E	合計	
2	1						0	
3								
4	合計	0	0	0	0	0	0	
5	-							
6								
10								- 8
11								- 8
12								- 8
13								
		Sheet1 /She	at2 /Sheet3	/		4		- 001 × 1
그구)	水	enseri gone	our Koneero	1	1		NUM	

図 6-2 雛型シートの例

ここでは5つのカラムを1レコードとして扱いますので、図のような"データファイル"を 仮作成します。実際に使用する場合にはここで作成したファイルに上書きする形でデータを生 成・利用することになります。

🗾 データ.cs	v - メモ帳		_	
ファイル(E)	編集(E)	書式(())	ヘルプ(日)	
100,200,15	0,500,275			_
				-

図 6-3 データファイルの例

このチュートリアルでは"ヘッダなし CSV "を"データファイル"として使用しましたが、 その他にも表のような種類のファイルを"データファイル"として使用することができます。

(ヘッダなし CSV) カンマ区切りのデータファイル。1 行に 1 レコードを表記したものです。	データ.csv - メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルブ(H) 100,200,150,500,275 ▲
	図 6-4 ヘッダなし CSV の例
(ヘッダあり CSV) データの内容は" ヘッダなし CSV "と同じ ですが、先頭行に各データの内容を表すへ ッダ部分を入れたものです。	『データcsv - メモ帳 「コ× ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルブ(H) 「A, B, C, D, E 100,200,150,500,275 」 「 100,200,150,500,275 」 図 6-5 ヘッダあり CSV の例
(XML)	
、MAL(eXtensible Markup Language)形式	→ J = → J × HK J = → J × HK ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルブ(H)
です。データ・レコード・ページなどが明 確に階層化されているファイルでないと 誤動作する可能性がありますので注意が 必要です。属性値は項目としては"@"付 きで表示されます。	<pre>K?xml version="1.0" encoding="Shift-JIS"?></pre>
	図 6-6 XML の例

レチドキュメント CSV) O CSV データを 1 つのファイルで表 E形式です。ページごとにレコード数 なる CSV を扱ったり、複数の CSV に Cページの同期を取るのに適してい 第100,200,150,500,275 データ1-1,データ1-2 データ2-1,データ2-2 2 行空行でページの区切り 110,210,600,250,333 111,211,601,251,334 データ3-1,データ3-2
図 6-7 マルナドキュメント CSV の例
レチドキュメントデータ) デドキュメント CSV と同様な特徴が ますが、こちらはデータの区切りなど なります。 「TAB] 「データ1-1**データ1 「TAB] 「データ2-1**データ1 「データ3-1**データ3-2** 「データ3-1***データ3-2** 「データ4-1***データ3-2** 「データ4-1***データ3-2**
図 6-8 マルチドキュメントデータの例
BC クエリファイル)
soft®Excel 付属の Microsoft®Query なしたクエリファイルです。ODBC 経 直接データベースファイルをデータ 'ルとして使用することができます。
dat

表 6-1 使用できるデータファイルの種類

各データの準備ができましたので、いよいよ開発モジュールを使用して"設定ファイル"を 作成していきます。

6.2. 起動

まず起動すると図のようなダイアログが表示されますので、"新規作成"を選択します。す

でに"設定ファイル"を作成し、それを編集する場合は"ファイルを開く"を指定してください。ここではまだ"設定ファイル"を作成していませんので、"新規作成"を選択します。

MICROLINK Marionette スタート	×
● 新規作成	
■ a, O ファイルを開く	
OK キャンセル	

図 6-10 起動画面

選択すると、"設定ファイルのプロパティ"ダイアログが表示されます。まず、設定ファイル名を入れます。この名前が設定ファイルのファイル名になります。保存されるフォルダは初期状態ではプログラムのあるフォルダになりますが、設定で任意の場所に変更することも可能です。このチュートリアルではわかりやすいように"表計算"と指定しました。

設定ファイルのプロパティ	×
離型シート データファイル	
設定ファイル名	
表計算	
設定の説明	
- EXCEL雑型シート	
参昭	
OK キャンセル 適用(G) ヘルプ	

図 6-11 設定ファイル名の入力

次に設定の説明を入力します。空白でも動作に支障はありませんが、後で設定ファイルを編 集する場合などに、どのような処理をする設定ファイルだったかを確認することができるので、 できる限りメモとなる文章を書いておくのが良いでしょう。ここでも簡単にメモを入力しまし た。

設定ファイルのプロパティ	×
離型シート データファイル	
設定ファイル名	
表計算	
設定の説明	
データを集計して表計算を作成する。	
 EXCEL雛型シート	
 ● 新規シート ● 既たシート 	
を照 参照	
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	

図 6-12 設定の説明の入力

続いて雛型となる Excel シートを設定します。ここでは、準備のところで作成した"表計算.xls"を指定します。

設定ファイルのプロパティ	×
雛型シート データファイル	
設定ファイル名	
表計算	
設定の説明	
データを集計して表計算を作成する。	
EXCEL雑型シート	
○ 新規シート	
 ● 既存シート 表計算xls 	
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	

図 6-13 雛型シートの入力

ダイアログ上部にあるタブからデータファイルを選択して、ここで使用するデータファイルの選択を行います。追加ボタンでファイルを選択していきます。種類のコンボボックスでは、 66 データファイルの形式を選択します。ここでは " データ.csv " を " ヘッダなし CSV " と設定します。

設定	ファイル	Dプロパティ		×
38	型シート	、データファイル		
	파므		146.86	
	世方	7717046		
	1	データ.csv		
			へッダなしOSV	
			マルチドキュメントCSV	
			マルチドキュメントナータ	
			· 自力的	
			Second Strength Lines	
		OK .		

図 6-14 データファイルの入力

これで初期設定は終了しましたので、OK ボタンで次の画面に移ります。

6.3. 設定

初期設定が終わると図のようなダイアログが表示されます。この画面が設定ファイルを作成 していくための基本画面となります。また、それとは別に雛型シートとして設定したファイル が Excel を介して起動され、設定ファイルを作成するために使用したり、直接シートを編集し たりするのに利用することができます。他の Excel シートとの区別をするために、キャプショ ン部分に本プログラムから起動したことを示すタグが付きますので編集時の判別に利用して ください。

 読 MICROLINK Marionette 7ァイル(E) 編集(E) ツール(I) オブション (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	ン(Q) ヘルプ(H) Ju Eli ダ × bfr I	×
データ項目 No 項目名 1 CSV/P/R/カラム1 2 CSV/P/R/カラム2 3 CSV/P/R/カラム3 4 CSV/P/R/カラム4 5 CSV/P/R/カラム5 1 CSV/P/R/カラム4	使用する項目 No 項目名 → × ← No 項目名 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	データ型

図 6-15 メインダイアログ

Ref M	crosoft	Excel [Mari	onettes	马起動	ιτι	はす] -	揚	算xk						_ 🗆 🗙
181	77°1/WE)編集区	表示(必挿	QΛ	書式位) 🤊	-MD :	₹-\$	知り ウインド	うど	へいけど		_ 8 ×
	🗳 🖬	88	🗳 🔊	° 🗈	8	к) т	٩.	Σf_{a}	ģ↓		20 *	MS P13	199	* *
	A1		-	=										
	A	В		С		D		E		F		G	н	
1		A		В	_	C	_	D	_	E	1	sit		
2	1		_		+		_		_		-	0		
3					+		_				-			
4	合計		0		0		0		0		0	0		
5	_		_		_		_				-			
6	-		_		-		-				-			
2	-		-		+		-		_		-			
8	-		-		+		-		_		-			
9			-		+		-		_		-			- 8
10			-		+		-				-			- 8
11			-		+		-				-			- 8
12			-		+		-		-		-	_		- 8
13				1-1			_		- 1					-
14 4	IF ININ	<u>Sheet1 (S</u>	heet2,	(Shee	(3/		_		1	• <u> </u>		-		
37.	2F											VUM j		- 1

図 6-16 起動された雛型シート

それでは順に設定作業を進めていくことにします。

6.3.1. データ項目の設定

最初にデータを雛型シートに展開するために、どのデータを使用するのかを設定します。例 えば1レコードに10のデータがある場合でも、その中の1つだけを展開したい場合にはその 1つを設定する必要があるわけです。このチュートリアルではすべてのデータを展開しますの で、すべての項目を使用するように設定します。 また、それぞれの項目がどのようなデータであるかを指定することができます。今回はすべて数値を扱いますのですべての項目で"値"を設定しておきます。

#EMICROL ファイル(E) 管 2 し データ項目 データフ	INK Marior 編集(E) 副 1111日 日 展開方 ァイル	nette ツール(① オブショ 酒 配 堅] ! [法 ページ設定 創	シ② へル <u>1</u> 1 国1 4 助作	レブ(<u>H</u> ぼ <mark>メ</mark>) (_
データ項	18			使用	する項目	
No J	項目名		1	No	項目名	データ型
1 (CSV/P/R/	(カラム1	\rightarrow	1	CSV/P/R/カラム1	値
3 (CSV/P/R/	カラム2 カラム3		2	CSV/P/R/カラム2	値
4 (CSV/P/R/ CSV/P/R/	カラム4 コラム5	×←	3	CSV/P/R/カラム3	値
		//////		4	CSV/P/R/カラム4	値
			>	5	CSV/P/R/カラム5	値
						(<u>ē</u>
			׫			÷¥1

図 6-17 データ項目の設定

データ項目名は XML 形式で表記されますが、CSV の場合にはカラム1が1番目のデータで あることが判れば作業に支障はありません。 ヘッダありの CSV の場合にはここにヘッダで指 定した名前が入ります。

複数のデータファイルを扱う場合にはデータファイルのコンボボックスを使用して、対象と なるデータファイルを切り替えながら設定をしていきますが、今回のチュートリアルでは1つ のデータファイルを対象にしていますので、このコンボボックスの中にも1つしか入っていま せん。

 HICROLINK Marionette ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブショ ビーン (T) オブショ データ項目 (展開方法) ページ設定 (動 データファイル データ.csv データ.csv データ.csv デーの (T) 	ン(Q) へ) (L) 国) 4 b/fr	ルプ(<u>H</u> ぼ 〉		X
No 項目名 1 CSV/P/R/力ラム1 2 CSV/P/R/力ラム2 3 CSV/P/R/力ラム3 4 CSV/P/R/力ラム4 5 CSV/P/R/力ラム5 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	→ ×← ≫ ×≪	No 1 2 3 4 5	項目名 CSV/P/R/カラム1 CSV/P/R/カラム2 CSV/P/R/カラム3 CSV/P/R/カラム4 CSV/P/R/カラム5	<u>データ型</u> 値 値 値 値

図 6-18 設定するデータファイルの選択

このコンボボックスによる設定対象の選択は以降の設定でも共通となります。

使用する項目の設定が終わりましたので、展開方法タブをクリックして次の設定に進みます。 6.3.2. 展開方法の設定

展開方法のタブでは、実際のデータをどのセルに展開していくのかを設定していきます。こ こでは、それぞれの項目ごとにどのセルに展開するのか、そして次のレコードはどの位置に展 開をするのかを設定します。

まず、1つめの項目に関して設定をしていきます。データ内容にはデータファイルの1レコ ード目に格納されているデータが表示されていますので、どのデータを入れるのかが一目で判 るようになっています。このチュートリアルでは表計算という特性上データの内容については 気にする必要がありませんが、名簿リストなどそれぞれの項目が意味を持つデータを扱う場合 にはこの部分を参考に設定作業を行うことができます。

今回の雛型シートでは1番目のデータは"B2"セルに入れますので、1つめの項目の挿入位 置の箇所に"B2"と入力します。このコンボボックスには雛型シートであらかじめ付けた名前 がリストアップされていますので、事前に設定をしていれば名前でのセル選択をすることも可 能です。また雛型シートで挿入位置をセルをクリックして、Excel マークのボタンを押すこと で指定したセルの位置を取り込むこともできます。

B2		1	=								
A	в	1	С	D	E		F	G		н	1
	A		В	C)	E	合計			ſ
1					-				0		
合計		0	0		0	0	0		0		
											1
		-				_			-		-8
					_						1
											1
> N\Sh	eet1 /SP	heet2 /	Sheet3	/	-		1				ú
ンド							<u> </u>	NUM			
編集(E) 日 歴開) ツー、 陶 G 方法 /	ル(T) 3 樫 ページ!	オプシ 〕 ! 設定 !	ョン◎ 1]]] 動作	ヘルプ(H) <i>铎 🗙</i>		-		ht	-2⊑∂n.∓⊞ `	
編集(E 日 展開 ファイル) ッー。 ��� ぽ 方法 / デー	ル(T) 3 樫 ページ タ.csv	オプシ 〕 ! 設定 i	ョン@) 到 目 動作	ヘルブ(<u>H</u>) 穿 <mark>×</mark>		•		_拉	3長処理)	>>
編集(E 日 展開 ファイル る項目) ッー ��� ぽ 方法 / デー	ル(T) 3 樫 ページ タ.csv	オブシ 〕 ! 設定 i	ョン(Q) 割 ៕ 動作	ヘルブ(H) 袋 <mark>×</mark>		T		<u></u>	張処理:	<u>>>></u>
編集(E 目 医開 ファイル る項目 項目名) ツー 陰 ぽ 方法 /	ル(T) 3 樫 ページ! タ.csv	オプシ 〕 ! 設定 [1	ョン ^(Q) [●] ■ 動作 データ型	ヘルブ(出) ダ <mark>×</mark> 挿入位		▼ 展開指3			派長処理 · · タ内容	>>
編集(E 目 展開 ファイル る項目 項目名 CSV/P/I) ッー, ��� ぽ 防法 <i>i</i> デー	ル(T) ページ タ.csv 1	オブシ 〕 ! 設定 [i 〕	ョン ⁽²⁾ 到 目 動作 データ型 直	ヘルブ(H) <i>好 ×</i> 挿入位 週	i置 ▼ 💌	 展開指第 展開なし 	<u>ē</u>		派処理 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	>>
編集(E 日 展開 ファイル る項目 CSV/P/I CSV/P/I) ッー, 唱 『 方法 , デー マ/カラム マ/カラム	ル(T) 3 樫 ページ タ.csv 1 2	オプシ 〕 ! 設定 i 「 「 「	ョン(Q) 到 目 動作 データ型 直 直	ヘルブ(H) ダ × 挿入位 22	ː置 ▼ [ऑ	 展開指約 展開なし 	定 	拉 デ、 100 200	3張処理: 一夕内容 0 0	>>> [
編集低 目 展開 7ァイル る項目 <u>項目名</u> CSV/P/I CSV/P/I) ッー, 唱 『 方法 / 「デー マ/カラム マ/カラム マ/カラム	ル(T) 3 単 ページ! タ.csv 1 2 3	オブシ 〕 ! 設定 1 設定 1 f f	ョン(Q) 到 国 動作 データ型 直 直	ヘルブ(H) ダ × 挿入位 22	± 	 展開指う 展開なし 展開なし 展開なし 	定 , [,]		3張処理) の内容 0 0 0	>>
編集低 目展開 7ァイル る項目 CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I) ッー, ��� ぽ 防法 デー R/カラム マ/カラム マ/カラム	ル(T) 3 堅 ページ タ.csv 1 2 3 4	オプシ] ! 設定 1 f f f		ヘルブ(H) ダ × 挿入位 1種入位	± ₹	 展開指 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 	定 , [, ,] , ,	拉 デ、 10 20 15 50	3張処理: 一夕内容 0 0 0 0 0	>>
編集低 日 展開 7ァイル る項目 GSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I) ッー, 「「話」 「デー R/カラム R/カラム マ/カラム マ/カラム マ/カラム	ル(T) ページ! タ.csv	オブシ 〕 ! 設定 1 f f f f	⇒> ^(Q) 動作	 ヘルブ(出) (2	 展開指第 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 		ガ デ、 100 150 200 150 275	3張処理: 一夕内容 0 0 0 0 5	>>
編集低 日 展開 7ァイル る項目 CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I CSV/P/I FF挿入指) ット, 「「話」」 「デー」 R/カラム、 R/カラム、 マ/カラム、 マ/カラム、 マ/カラム、 マ/カラム、	ル(T) ページ) タ.csv 1 2 3 4 5 -ド単(オプシ 〕 建 設定 1 一 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 」 」 し 「 」 し 「 」 し 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 「 」 し 一 し 一 し 一 一 一 「 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し 一 し し し し し し し し し し し し し		ヘルブ(H) ダ × 挿入位 1種入	±	 展開指数 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 展開なし 		ガ デ、 100 200 150 275	3張処理: 一夕内容 0 0 0 0 5 5	
		A 1 ABH ABH VF	A 1 A 1 A A A A A A A A A A A A A	A B 1 A B 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A B C 1 A B C 1 A B C I I I I I I I I I I I I I	A B C C 1 A B C C 1 A B C C C A B C C C A B C C C A B C C C A B C C C C C A B C C C C C C C C C C C C C C C C C C	A B C D 1	A B C D E 1	A B C D E 合計 1	A B C D E 合計 1 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 0 0 0 小 NUM NUM NUM NUM NUM NUM	A B C D E 合計 1 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 合計 0 0 0 0 0 ト Nimet1 /Sheet2 /Sheet3 / ・ Num

図 6-19 挿入位置の設定

そして、このデータは縦に並べていきますので、展開指定のダイアログを開いて"下方向に 1 セル"と入力します。

項目展開指定	×					
○ 展開なし						
● 展開する						
▶ 垂直方向に展開する						
 下方向 上方向 セル 						
□ 水平方向に展開する						
⑦ 右方向 〇 左方向 0 セル						
<u> </u>						

EMICROLINK Marionette III × ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルブ(H)							
データ項目 展開方法 ページ設定 動作							
データ	ファイル データ.csv			•	拡張処理 >>		
使用する項目							
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容		
1	CSV/P/R/カラム1	値	B2 🔽 💌	展開あり:下1 🛄	100		
2	CSV/P/R/カラム2	値		展開なし	200		
3	CSV/P/R/カラム3	値		展開なし	150		
4	CSV/P/R/カラム4	値		展開なし	500		
5	CSV/P/R/カラム5	値		展開なし	275		
展開時挿入指定(レコード単位)							

図 6-20 展開指定の設定

項目名のボタンを押すと詳細設定のダイアログが表示されますが、通常は編集する必要はあ りませんので、このチュートリアルでは省略します。

残りの4つの項目についても同様に設定をしていきます。挿入位置はそれぞれ"C2""D2" "E2" "F2"となり、展開指定は1つめと同様になります。この展開指定に関してはメニュ ーの編集にあるコピー・貼り付けが使用できますので、こちらを利用すると作業効率が高くな ります。
Image: Imag									
🎦 🚅 🖬 🖆 🖺 🖳 ! 🕕 🗐 🎸 🗙									
デ	一友項	眞目 展開方法 ページ設定	動作						
-	データ	ファイル データ.csv			•	拡張処理 >>			
1	使用	する項目							
	No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容			
	1	CSV/P/R/カラム1	値	B2	展開あり:下1	100			
	2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	200			
	3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150			
	4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500			
	5	CSV/P/R/カラム5 📃	値	F2 🔽 🔀	展開あり:下1 🛄	275			
	展開								
	œ	挿入なし 〇 挿入する							
		插入筋囲	- I 30 - 1	まみ先					
		147748000	, E	Ф/ОС					

図 6-21 展開指定をすべて設定

なお、セルの指定方法にはセル位置を直接指定する方法の他に、名前で指定する方法とセル 参照で行う方法があります。名前で指定する場合は、雛型シート上でセルに名前を定義して、 その名前を挿入位置などにそのまま設定します。セル参照で行う場合には必ず先頭に"%"の 付いた任意の名前を雛型シートの任意の位置に書き込んでおきます。そして、その書き込んだ 名前を同様に挿入位置などに設定します。

🐱 Microsoft Excel [Marionetteから起動しています] - 表計算 xls									
181	77-1NE	シ編集(2) 建	标业 挿入((の)た書 ほ	アールロ データ	ぬりウルや	199 ヘルプビ	_ & ×	
	🛩 🖬	🔒 🖨 🖪	. 🖤 🖻 🖻	🛓 🗤 + 🍓	, Σ f= 🛃	🏙 😨	2 MSP122	7 • ¥	
名前	定義し	たセル 💌	=						
	A	В	С	D	E	F	G	н	
1		A	В	C	D	E	合計	_	
2	1						0		
3									
4	合計	0	0	0	0	0	0		
5								- 8	
6								- 8	
7								- 8	
8								- 8	
9									
14	F HA	Sheet1 (She	et2 /Sheet3	/		4			
373	JF .						NUM		

図 6-22 名前での参照例(雛型シートの設定)

<mark>期 MICR</mark> ファイル() 管 C データコ データコ	OLINK Marionette) 編集(E) ツール(T) オブ : 日 11 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	沙ョン(Q) / <mark>乳</mark> 国↓ 動作	()↓J(H) & ×	■ 拡張処理)	.□×
使用	する項目				_
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	
1		値	名前定義したセル 💌	🗶 展開あり:下1 🛄	
2	 CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	
3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	_
•					
-展 (•	開時挿入指定(レコード単位)→ 「挿入なし」 ○ 挿入する 挿入範囲	- 1	 承先		

図 6-23 名前での参照例(入力方法)

EN N	icrosoft	Excel [Marione	rtteから起動して	(います) - 表計	算xla			_ 🗆 🛛		
■ ファイル(E) 編集(E) 表示(M) 挿入(P) 書式(M) ウール(D) データ(D) ウィンドウ(M) ヘルブ(M)										
D 😂 🖬 🗃 🖓 🖤 🐚 🖻、 ロー 🍓 Σ 🍂 針 🏙 😨 👋 MSPゴシック 🔹										
	B2	*	= %	セル定義						
	A	В	С	D	E	F	G	н		
1		A	В	C	D	E	合計			
2	1	&セル定義					0			
3										
4	合計	0	0	0	0	0	0			
5	_							- 8		
6	_							- 8		
7	-							- 8		
8	-							- 8		
9	-									
10	F H	Sheet1 (She	et2/Sheet3	/		4				
37.	ノド						NUM			

図 6-24 セル値による参照例(雛型シートの設定)

開 ファ で で	EMICROLINK Marionette										
	データファイル データ.csv ▼ 拡張処理 >>										
	使用	する項目									
	No	項目名	データ型	挿入位置	屈	観指定					
	1	CSV/P/R/カラム1	値	%セル定義	- 🛛 🗷	観あり:下1 .					
	2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	厘	 展開あり:下1	_				
	3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	圧	展開あり:下1					
	4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	厇	展開あり:下1	_				
	•	1		1			▸┌╴║				
	┌展開	■時挿入指定(レコート単位)―									
	•	挿入なし 🔿 挿入する									
	插入節囲 III 插入先 IIII III III III III III III III III										
		,									
_											

図 6-25 セル値での参照例(入力方法)

次に展開時挿入指定の設定を行います。今回のチュートリアルでは雛型として最低限の表だ けを作成しています。レコード数があらかじめ判っている場合には想定した雛型を作成すれば 問題ありませんが、今回のチュートリアルではレコード数がわからないため、1 レコードを処 理するごとに行部分を拡張するための設定をしていきます。

まず、現在の設定で1レコード処理した場合のシートを考えてみると次のようになります。

🐱 Microsoft Excel [Marionetteから起動しています] - 表計算 xka									
	77-1NE) 編集(E) 表	际心 挿入の	書式の)	ヘルロ データ	ぬりウルや	ぬへはし	_ 8 ×	
	🛩 🖬	🔒 🖨 🖪	🖤 🖻 🖻	n - 🍓	,Σ 🖍 🛃	۵ 🏨	* MSP3	/90 * 🖗	
	A1	*	=						
	A	В	C	D	E	F	G	н	
1		A	В	С	D	E	合計		
2	1	100	200	150	500	275	1225		
3									
4	合計	100	200	150	500	275	1225		
5									
6									
7									
8									
9								100	
10	F HAS	Sheet1 \She	et2 /Sheet3 /	/		•			
_ ⊐ ₹,	バ						NUM		

図 6-261 レコード処理した後のシート

これを2レコード処理した場合には次のようになるのが理想形です。

🐱 Microsoft Excel [Marionetteから起動しています] - 表計算 xla											
▲] ファイル(E) 編集(E) 表示(M) 挿入(P) 書式(M) ケール(D) データ(M) ウィンドウ(M) ヘルブ(M)											
🗋 😂 🖬 🖓 🖓 🕼 🖻 🔹 🔹 - 🍓 x 🗚 🛃 🛍 😨 🔅 MSP3595 🔹											
	AI T =										
	A	В	С	D	E	F	G	н			
1		A	В	С	D	E	合計	_			
2	1	100	200	150	500	275	1225				
3	2	300	150	600	222	1500	2772				
4											
5	合計	400	350	750	722	1775	3997				
6											
7											
8											
9								100			
10	- 140 P	1	10 (21	,				×			
		pheeti <u>Xohe</u>	etz (aheeta	/	1	·	- NUMBER OF				
747	11						JNUM J				

図 6-272 レコード処理した後のシート

つまりセル範囲(A2:G2)にあたる領域を一つ下のセル範囲(A3:G3)に挿入すれば良いこ とがわかりますので、このように設定をします。

MICROLINK Marionette										
pイル(E) 編集(E) ツール(E) オブジョン(Q) ヘルブ(E)										
1 🖻	님 않 백 🛍 변		4 X							
产一友项	1目│展開方法│ページ設	定 動作								
デーカ	ロマイル データ cov			-	おけ2月の17年 >>					
	77170 J. 0.08V									
使用	する項目									
		(1					
No	項目名	<u> データ型</u>	挿入位置	展開指定	データ内容					
1	CSV/P/R/カラム1	値	B2	展開あり:下1	100					
2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	200					
3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150					
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500					
5	CSV/P/R/カラム5	値	F2	展開あり:下1	275					
, 展見	 期時挿入指定(しつ⊂ド単位)								
0	ほうわし の ほうオス	ſ								
12	14//40 14//90									
挿入範囲 A2:G2 種入先 相対位置:下11										

図 6-28 展開時挿入設定の設定

なお、この場合のセル範囲を列で指定した場合(今回の場合は 2:2)でも同様の結果になり ますが、セル単位で指定するよりも列単位で指定した場合の方が展開処理時に若干の高速化を 図ることができます。

MICROLINK Marionette アイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)								
データ	ファイル データ.csv			•				
使用了	する項目							
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容			
1	CSV/P/R/カラム1	値	B2	展開あり:下1	100			
2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	200			
3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150			
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500			
5	CSV/P/R/カラム5	値	F2	展開あり:下1	275			
5 CSV/P/R/カラム5 10 F2 展開あり: F1 275 展開時挿入指定(レコード単位) ○ 挿入なし ○ 挿入する 挿入範囲 221 ▼ 挿入先 相対位置: 下1 …								

図 6-29 もう一つの展開時挿入設定の設定

ところで、このまま処理をしていくと雛型シートでいう3列目の空行が残ったままになりま す。もともと、この行は縦の集計をする際に範囲指定を行う必要があり、そのためにダミーで 配置したものなので最終的には必要の無い行ですから、処理が終わったら削除する必要があり ます。

削除の指定をするために、拡張処理ダイアログを開きます。

拡張処理
展開処理を行うシート名
 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSVのみ) レコードを1ページ分として処理する
□ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から ジャンプする
- 展開後削除指定(ページ単位)
 ○ 削除する ○ 削除範囲
のK キャンセル

図 6-30 拡張処理ダイアログ

ここでは、他にも特殊な処理を設定することができますが、今回はこの中の"展開後削除指 定"の設定を行います。

展開後削除設定で指定するのは処理が終了した時に削除するべきセル領域です。これは最終的な展開後のセル範囲ではなく、雛型シート上の範囲を指定しますので、今回の雛型シートでは(A3:G3)もしくは(3:3)と指定します。

拡張処理 🛛 🔀
展開処理を行うシート名
 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSVのみ) レコードを1ページ分として処理する
□ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から ジャンプする
展開後削除指定(ページ単位) 〇 削除なし ④ 削除する 削除範囲 33
OK キャンセル

図 6-31 展開後削除指定の設定

これで、展開に関する設定は終わりました。今回は1ページにすべてのデータを収めますの でページ設定タブは使用しませんので、動作タブで動作設定に進みます。

6.3.3. 動作の設定

動作のタブではすべての展開が終了した後にどのような処理を行うのかを設定します。初期 状態では"画面表示する"という設定があらかじめ入っていますので、このまま実行すると展 開した Excel シートが画面に表示されるという結果になります。今回のチュートリアルでは、 それが目的になりますのでこのままの状態ですべての作業が完了したことになります。

👯 MICROLINK Marionette									
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オ	ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)								
12 🚘 🖬 😭 🖻 🛍	! 🗓 🗄	l 🗳	×						
「データ項目 展開方法 ページ設定	E 動作								
· · · · ·					1				
田・表示		No	EXCEL動作	詳細設定					
国・3米11年 南・ワークシート	_→	1	画面表示	する					
10・ファイル									
	XE								
田…1未設 南…メール									
☆~その他	1								

図 6-32 動作の設定

6.4. チェックとテスト

すべての入力が完了したらメニューからチェックを実行します。ここで設定した内容に関す る簡単なチェックを行い、事前に設定のミスを検出することができます。ただし、チェック項 目には限りがあるため、このコマンドで正常と表示されても実際に動作すると予想外の結果が 発生することがありますのでご注意ください。

そのような事態のために本プログラムではテスト実行などの機能があります。テスト実行で はすべての展開処理を画面表示しながら再現していきますので、どこで異常が発生しているか わかるようになっています。

それでは、本チュートリアルで作成した内容についてチェックをしてみます。正常に入力さ れていれば以下のダイアログが表示されます。

(דביל] לאי	セージ 🗵
•	設定は正常です
	OK

図 6-33 チェックでの正常メッセージ

不備があった場合は警告またはエラーメッセージが表示されますので、修正する必要があり ます。



図 6-34 チェックでのエラーメッセージ例

チェックが終了したら、まずはテスト実行してみます。連続実行ではすべての処理を一度に 行いますが、1ステップ実行では各処理ごとに一時停止します。普段は連続実行でテストを行 い、異常処理をしている部分を特定したい場合に1ステップ実行を行うのが効率の良いテスト 方法です。今回は連続実行をしてみることにしましょう。この時に、保存するかの確認が行わ れますので、保存するを選んでください。すべての保存作業に共通ですが、雛型シートの保存 も同時に行われますのでご注意ください。

E M	crosoft l	Excel - MXLC	62.xls					- O X	
○ アナイル(E) 編集(E) 表示(W) 挿入(D) 書式(W) ツール(D) データ(W) ウィンドウ(W) ヘルブ(W) ▲									
	🚔	🔒 🎒 🖪	🖤 🖻 🖻	🛯 🕬 - 🍓	,Σ f= 🛃	۵ 🛍	ッ MS Pゴシック	* *	
	A1	*	=						
	A	В	С	D	E	F	G	н	
1		A	В	C	D	E	合計		
2	1	100	200	150	500	275	1225		
3	合計	100	200	150	500	275	1225		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
14	F HA	Sheet1 (She	et2/Sheet3	/	1	(
그국)	1						NUM		

図 6-35 テスト実行の結果

設定に問題が無ければこのような Excel シートが表示されるはずです。されない場合はどこかに設定の誤りがありますので、設定を見直して修正を行ってください。

6.5. 実際のデータで実行

それでは、実際にデータを作成して実行することにしましょう。まずデータファイルを作成 します。どのような方法でも構いませんが、今回はエディタで以下のようなファイルを作成し ました。最初に完成形として挙げたシートを生成するためのデータになります。

🗾 データ.cs	∨−メモ帳		_	
ファイル(<u>E</u>)	編集(E)	書式(①)	ヘルプ(田)	
100,200,15	0,500,275			
260,150,60	0,222,150 0,300,650	U		
900,70,450	0,3000,10	0		
				_
				v

図 6-36 実行用データ

実行するには実行モジュールを使用します。コマンドプロンプトを表示して次のように指定 します。



図 6-37 コマンドプロンプト

データや設定に問題がなければ、次のような Excel シートが表示されます。

E N	icrosoft	Excel - MXLC	68.xls					
	77-1NE	(編集化)ま	転心 挿入の	(個式の) か	トルロ データ	知り ウルドウ	必 ヘルプ田	_ & ×
	🗳 🖬	🔒 🎒 🖪	😻 🖻 🖻	10 v 🍓	,Σ f= 🛃	1	· MS Pゴシ	ック・・?
	A1	-	=					
	A	В	С	D	E	F	G	н
1		A	В	С	D	E	合計	_
2	1	100	200	150	500	275	1225	
3	2	300	150	600	222	1500	2772	
4	3	260	100	450	300	650	1760	
5	4	900	70	4500	3000	100	8570	
6	合計	1560	520	5700	4022	2525	14327	_
7								88
8								88
9								
10								
11								100
14	F HA	Sheet1 (She	et2 /Sheet3 /	/		4		100 × 1
37.	ンド						NUM	

図 6-38 実行結果

6.6. 応用

基本的なシート作成はこれで終わりました。それでは、ここからはこのシートを応用したい くつかの手法について説明をしていきます。

6.6.1. 複数ページのシートを作成する

先ほどのチュートリアルでは1ページのシートを作成しましたが、これを複数ページにする 方法をこれから説明していきます。今回使用したデータをそのまま使用して、2レコードで1 ページを作成するように設定をしていきます。全部で4レコードありますので、最終的には2 ページのシートが生成されることになります。

6.6.1.1. ページのレコード数を設定

まず、CSV ファイルの場合は明確なページを区切りをデータの上で表現することができないので、拡張設定でページのレコード数を設定します。ここでは2レコードで1ページにしますので、チェックボックスを有効にして"2"と入力します。

拡張処理 ★
展開処理を行うシート名
 ✓ 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSVのみ) 2 レコードを1ページ分として処理する
□ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から ジャンプする
拡張展開処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに の書式を基準位置から … 1にコピーする
展開後削除指定(ページ単位) 〇 削除なし ④ 削除する 削除範囲 33
OK キャンセル

図 6-39 ページのレコード数を設定

6.6.1.2. 拡張ジャンプ・拡張展開を設定する

次に拡張ジャンプ・拡張展開処理の設定をします。今回のケースでは1ページごとに雛型に 作成した表をコピーして使用する必要がありますので、ページが進むごとにそのコピー作業を 行う必要があります。まずコピーする範囲は表の範囲ですからチェックボックスを有効にして (A1:G4)または(1:4)などと指定します。コピー先の位置は(A5:G8)または(5:8)にコ ピーすることにします。つまりここでは"下4"と指定することになります。

移動先指定
▶ 垂直方向
 ● ト方向 ○ 上方向 ● セル ● 水平方向

OK キャンセル
拡張処理 ×
展開処理を行うシート名
 ✓ 一定レコード数ごとにページの区切りとする(OSVのみ) 2 レコードを1ページ分として処理する
□ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位)
1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から … ジャンプする
▼ 拡張展開処理を行う(ページ単位)
1ページ処理ことに 14 13 の書式を基準位置から 下4 10コビーする
展開後削除指定(ページ単位)
 ・ 前除なし ・ ・ ・
◎ 削除する 削除範囲 33 🔣
OK キャンセル

図 6-40 拡張展開処理の設定

拡張ジャンプも同様に設定します。表のコピー位置を"下4"に設定しましたので、挿入位置が"B2"のデータは2ページ目では"B6"に挿入することになります。つまりここでもチェックボックスを有効にして"下4"と設定します。

拡張処理
展開処理を行うシート名
 ✓ 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSVのみ) 2 レコードを1ページ分として処理する
✓ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から「下4」 ジャンプする
☞ 拡張展開処理を行う(ページ単位)
1ページ処理ごとに 1:4 の書式を基準位置から 下4 「 「 」 にコピーする
┌展開後削除指定(ページ単位)
 ・
 ・ ・ ・
OK キャンセル

図 6-41 拡張ジャンプ処理の設定

6.6.1.3. ページ設定

続いてページ設定タブで改ページの処理を設定します。まず、チェックボックスを有効にして改ページ対象のファイル名を"データ.csv"に指定します。この設定をすることでデータファイルの処理に応じて改ページコードをシートに挿入する処理が行われるようになります。

T MICROLINK Marionette	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) オプション(Q) ヘルプ(H)	
🏠 🚅 🖬 🖆 🛍 🖳 ! 🗓 💷 🖇 🗙	
データ項目 展開方法 ページ設定 動作	
▶ 政ページコードを自動で挿入する	
┌ 詳細設定 @文ページ単位)	_
ページ設定の基準にするデータファイル データマックル	
はページの挿入位置	
改ページの際に複写するコピー元	
さべージの際に視写するコピー先 …	
	_

図 6-42 ページ設定

次に改ページ記号の挿入位置をセル位置で指定します。実際には指定したセルの上辺で挿入 されます。通常、今回の場合ですと"A5"と設定するのですが、削除指定を入れている場合は この削除範囲を考慮する必要があります。この場合、1行分の削除をしているので改ページ挿 入位置を実際の位置より1つ上に設定します。つまり、ここでは"A4"と指定します。

👯 MICROLINK Marionette	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)	
🎦 🚅 🖬 🖆 🖻 🛍 🖳 🗜 🖺 🗐 🎸 🗙	
データ項目 展開方法 ページ設定 動作	
▶ 政ページコードを自動で挿入する	
┌詳細設定@女ページ単位)	_
ページ設定の基準にするデータファイル データ csy 🔹	
改べージの挿入位置 (44)	
改ページの際に複写するコピー元	
改ページの際に視写するコピー先 …	

図 6-43 改ページ挿入位置の設定

6.6.1.4. 実行

以上の設定が終了したらチェックで設定を確認してテスト実行します。図のようなシートが 表示されることを確認してください。

Microsoft Excel - MXLC73.ds								
1817	77-111年)編集(E) ま	际心 挿入() 書式(2))	トルロ データ	10 ウルドウ	と へいけど	_ 8 ×
	🗩 🖬	🔒 🎒 🖪	🖤 🖻 🖻	l 🗤 - 🍓	,Σ f= 🛃	۵	♥ MS P⊐S	190 · 🖓
	A1	-	=					
	A	В	С	D	E	F	G	н
1		A	В	C	D	E	合計	
2	1	100	200	150	500	275	1225	
3	2	300	150	600	222	1500	2772	
4	合計	400	350	750	722	1775	3997	
5		A	В	С	D	E	合計	
6	1	260	100	450	300	650	1760	
7	2	900	70	4500	3000	100	8570	
8	合計	1160	170	4950	3300	750	10330	
9								
10								
11								
12								100
	E HA	Sheet1 /She	et2 /Sheet3	/	1	•		
372	水				1		NUM	

図 6-44 複数ページ作成の実行結果

Kicrosoft Excel - MXLC73.	xls				- - ×
(次ページ(型)) 前ページ(型)	拡大(乙)	印刷(工)	設定(S)	余白(M)	改ページ プレ
	C D	E At	7		
1 100 200 2 300 150 201 200	600 22 750 72	10 275 1225 12 1500 2772 12 1775 8997			
印刷プレビュー:1/2			N	UM	

図 6-45 結果の印刷プレビュー画面

6.6.2. 自動的に印刷して終了する

実行した時に画面表示なしで印刷だけを行って終了する、いわゆる印刷モジュールとして利 用するためには動作設定を以下のようにします。

RICROLINK Marionette										
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オプション(Q) ヘルプ(H)										
🖆 🚅 🖬 🖆 🛍 🖳 ! 🗓 🗉 🎸 🗙										
データ項目 展開方法 ページ設定 動作										
田表示		No	EXCEL動作	詳細設定						
田・野洋作 南・ワークシート	_→	1	シートの印刷							
車 ファイル		2	Excel終了							
日本印刷										
1 1 データ										
由- 保護 市 メール										
■☆クラレ	↑									
一検索 ガーウザブプレビュー										
- マクロ起動										
… 外部アプリケーション起動	Ļ									
ー 1メーン置き換え - Excel終了										

図 6-46 印刷して終了する設定

このように設定すると、通常使うプリンタにアクティブシートを印刷して、その後プログラムを終了します。この場合のアクティブシートは雛型シートの保存時に表示していたシートになります。

6.6.3. 複数のファイルを扱う方法

本プログラムでは一つの雛型ファイルに対して複数のデータファイルからデータを流し込むことができます。例えば、ヘッダ部分と明細部分のデータをそれぞれ別のファイルに保存している場合などには、このような方法で処理を行うことが有効になります。ここでは、6.6.1で設定したデータを元に以下のように2つのファイルを使用した例を説明していきます。



図 6-47 明細部とヘッダ部に分かれたファイル

また、ここでは雛型シートもこのように修正します。

E M	crosoft	Excel [Marion	etteがら起動	しています] - 表記	†算xks			_ 🗆 🗵
181	774NE)編集(E) ま	标业 挿2	(① 書式(2))	ケール田 デー	処 ウルビ	789 ヘルプピ	_ & ×
	🗩 🖬	🔒 🖨 🖪	🐿 🌾	🛍 n 🛛 🍕	δ Σ f= 🛃	🛍 😨	* MSP122	7 • ¥
	A1	-	=					
	A	В	С	D	E	F	G	н
1							合計	
2	1						0	
3								
4	合計	0		0 0	0	0	0	
5								100
6								
7								
8								
9								
1.0								*
4 4	F H/3	<u>Sheet1 (She</u>	et2 (Sheet	13/	1	4		1000
37.	JF						NUM	

図 6-48 複数ファイルを使用する場合の雛型シート例

6.6.3.1. 複数データファイルを登録

まずは、設定ファイルでのデータファイルの設定で2つのデータファイルを登録します。

設定	ファイルの	חלים//דּר
3	理シート	、データファイル
	番号	ファイル名 種類
	1	データ.csv ヘッダなしCSV
	2	ヘッダ.csv へッダなしCSV ▼
		追加 肖耶徐
		OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

図 6-49 データファイルの登録

すると、メインダイアログでのファイルリストがこのように 2 つのファイルから選択できる ように変わります。

 IICROLINK Marionette ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション (E) 副 圖 圖 圖 里 ! [データ項目 展開方法 ページ設定 動 データファイル データcsv アータのの 	ン(Q) へ) 〕 国 4 m作	ルプ(<u>H</u> ぼ >		X
データ項目 No 項目名 1 CSV/P/R/カラム1 2 CSV/P/R/カラム2 3 CSV/P/R/カラム3 4 CSV/P/R/カラム4 5 CSV/P/R/カラム5	→ ×← ≫ ×≪	1 1 2 3 4 5	9 0 項日 項目名 CSV/P/R/カラム1 CSV/P/R/カラム2 CSV/P/R/カラム3 CSV/P/R/カラム4 CSV/P/R/カラム5	<u>データ型</u> 値 値 値 値

図 6-50 複数のデータファイルが登録された

6.6.3.2. 追加したデータファイルの設定

追加したデータファイルに対して展開方法などを設定していきます。それぞれのセル位置に ヘッダの部分が該当するように設定します。

EMICROLINK Marionette 「									
データ: No	項目 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		使用? No	掲項目 					
1	CSV/P/R/カラム1	\rightarrow	1	CSV/P/R/カラム1	值				
3	CSV/P/R/カラム2 CSV/P/R/カラム3		2	CSV/P/R/カラム2	値				
4	CSV/P/R/カラム4 CSV/P/R/カラム5	×←	3	CSV/P/R/カラム3	値				
Ľ			4	CSV/P/R/カラム4	値				
		>>	5	CSV/P/R/カラム5	値				
		׫							

図 6-51 データ項目から使用する項目を選択

TICROLINK Marionette									
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルブ(H)									
ê 🖻	🔚 🖆 🖪 😫 🚦	i I	4 🗙 🗶						
データ項	1日 展開方法 ページ設定	動作							
データファイル ヘッダ.csv 🔽 拡張処理 >>									
(申田7	また 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10								
ыхла: 	7 0-A C								
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容				
1	CSV/P/R/カラム1	値	B1	展開なし	A				
2	CSV/P/R/カラム2	値	C1	展開なし	В				
3	CSV/P/R/カラム3	値	D1	展開なし	С				
4	CSV/P/R/カラム4	値	E1	展開なし	D				
5	CSV/P/R/カラム5	値	F1 🖵 🔣	展開なし …	E				
┍展開					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
œ	挿入なし 〇 挿入する								
			₩٨Æ						

図 6-52 挿入位置を設定

ヘッダの部分では1ページに1レコードなので、展開指定も必要ありませんし、展開する時に セルを挿入する必要もありませんので、展開指定・展開時挿入指定はそのままにしておきます。 拡張処理の設定では、ヘッダ部分は1ページに1レコードですので、まずはそのように設定し ます。そして、拡張ジャンプでは明細部分と同様にセルを移動させる必要がありますので、名 細部と同様に設定します。

拡張処理 ×
展開処理を行うシート名
 ✓ 一定レコード数ごとにページの区切りとする(CSVのみ) 1 レコードを1ページ分として処理する
▼ 拡張ジャンプ処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに展開位置を基準位置から 下4 … ジャンプする
 拡張展開処理を行う(ページ単位) 1ページ処理ごとに 図の書式を基準位置から ICコピーする
展開後削除指定(ページ単位)
 ○ 削除する 削除範囲
OK キャンセル

図 6-53 ヘッダ部分の拡張処理設定

これで設定は終了です。チェックで間違いが無いことを確認してテスト実行をすると、ひのようなシートが表示されます。

EE Mi	crosoft i	Excel - MXLC	C7.xla					- 🗆 X		
	■ ファイルE 編集E) 表示① 挿入◎ 書式② ツール① データ② ウィンドウビ ヘルブビ									
	🛎 🖬	🔒 🍯 🖪	🖤 🖻 🖻	l 10 + 🍓	, Σ f= 🛃	۵	₩ MSPゴシッ	ク・*		
	A1	*	=							
	A	В	С	D	E	F	G	н		
1		A	В	С	D	E	合計			
2	1	100	200	150	500	275	1225			
3	2	300	150	600	222	1500	2772			
4	合計	400	350	750	722	1775	3997			
5		F	G	н	I	J	合計	100		
6	1	260	100	450	300	650	1760			
7	2	900	70	4500	3000	100	8570			
8	合計	1160	170	4950	3300	750	10330			
9										
1.0				,						
	FINK	<u>Sheet1 (She</u>	et2/Sheet3	/	1	•				
- ㅋ국)	バ						INUM			

図 6-54 ヘッダと明細が展開された実行結果

6.6.4. データファイルを必要としない設定(動作設定だけを使用)

データファイルを使用しないで、雛型シートと動作だけを設定することもできます。また雛 型シートも設定しない、動作だけの設定でも本プログラムを使って Excel を操作することがで きます。 例えば、CSV ファイルを開いて単純な並べ替えを行い、その結果をファイルとして出力する 場合には、展開処理でデータを流し込むよりも動作で設定できる"ファイル挿入"などを使用 した方が比較的高速に処理を行うことができます。特に雛型を必要としない場合には"ファイ ル読込"を使用することでさらに高速な処理が可能になります。

 Image: MICROLINK Marionette ファイル(E) 編集(E) ツール(I) オ (音) 会 局 合 時 命 時 データ項目 展開方法 ページ設定 	ブション(Q) ! <u>乳</u> 国 記 記 動作	 L <i>⊊</i> 	⊐°Щ) Г <mark>×</mark>		
 ■ 表示 ■ 決作 ■ ワークシート ■ ファイル ■ 印刷 ■ 編集 ■ データ ■ パース ■ パール ■ その他 	→ ×←	No 1 2 3 4	EXCEL動作 ファイル読込 並べ替え 名前を付けて保存 Excel終了	<mark>詳細設定</mark> データ.csv A 結果.xls	

図 6-55 動作だけの設定例

E M	icrosoft Excel -	铝果xls						_OX	
11] ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入の 書式(V) ツール(D) データ(D) ウィンドウ(V) ヘルブ(H)									
	🛸 🖬 🔒 🖉	lia 💞	🗈 🛍 🕫	- 🍓 Σ ,	f= 🛃 🛍	😨 😤 M	tS Pゴシック	* *	
	A1	*	= 100						
	A	В	С	D	E	F	G	H.	
1	100	200	150	500	275				
2	260	100	450	300	650				
3	300	150	600	222	1500				
4	900	70	4500	3000	100				
5								100	
6									
7									
8								- 88	
9									
10	► N\Sheet1	λ <u>τ-</u> 2/						×	
37	ンド				J	I IN	IM M		

図 6-56 実行結果

6.6.5. ページごとに動作指示を行う設定

大きなデータを扱う場合、Excelの仕様で 65535 行までのデータしか扱うことができないためにすべてを処理できないことがあります。このような場合にはすべてのデータを処理してから動作を実行するのではなく、1ページ処理するごとに動作を実行することで大きなデータを

扱うことができるようになります。

その他にもページごとに処理することが望ましい場合もあります。例えば、1ページごとに 別々のファイルに保存する場合、ページごとに印刷することで処理を高速化する場合などです。

ここでは 6.6.1 で作成した設定ファイルを修正しながら結果の違いを比べていくことにして いきます。

まず、ページ設定を以下のように修正します。これで1ページの処理ごとに改ページ記号を 埋めるのではなく、動作処理が行われるようになります。

RICROLINK Marionette	_ 🗆 X
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)	
データ項目 展開方法 ベーン設定 動作	1
□ ロページコードを自動で挿入する ▼ ページことに動作処理をする	
┌詳細設定(なページ単位)	_
ページ設定の基準にするデータファイル]
改ページの挿入位置	
○ ひべージの際に複写するコピー元	
改べージの際に複写するコピー先 …	

図 6-57 ページごとに動作処理(1)

次に、動作の部分に"Excel 終了"を追加します。これは、1 ページごとに Excel が起動されるために、そのままの状態ではページの数だけ Excel が起動されることとなりシステムに大きな負担となってしまうことを防ぐためです。

 ICROLINK Marionette ファイル(E) 編集(E) ツール(I) オ (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) (F) (P) 	ブション(Q) ! <u>乳</u> 国 目 動作	_∧,ı ↓ <i>⊊</i> 	プ(H) そ <mark>、</mark> ×		X
田 表示		No	EXCEL動作	詳細設定	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		1	回回表示	ৰহ	
		3	Excel終了		
□ · 福果 □ · データ	×←	F			
⊡保護 □よール					
■ その他	1				
	↓				

図 6-58 ページごとに動作処理(2)



この状態で実行すると、次のように1ページごとに印刷プレビューが表示されます。

図 6-59 実行結果

また、次のような設定をすることでページごとに「file1.xls」「file2.xls」…といったファイル を生成することも可能です。

RICROLINK Marionette								
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルプ(H)								
12 🚔 🔚 😭 🗈 🛍	! 🏦 🗄	↓ 😔	ž 🗙					
データ項目 展開方法 ページ設定	包 動作							
田·表示		No	EXCEL動作	詳細設定				
日日・日本「F	_→	1	画面表示	する				
中・ファイル 中・印刷 中・編集 中・データ 中・保護 中・メール 中・その他	×← ↑	2	名前を付けて保存 Excel終了	file%_CP%xIs				

図 6-60 ページごとにファイル生成

6.6.6. グループ機能を使用した一覧表の作成

グループ機能を使用することで、簡単に一覧表形式のシートを作成することができます。こ こでは 6.6.1 でで作成した設定ファイルをグループ機能を使用したものに変更することで設定 方法の違いについて見ていくことにします。

グループ機能とは、複数のカラムをひとまとめに処理する機能です。設定をするためには展 開方法の設定画面で項目にカーソルを合わせて右クリックします。

MICROLINK Marionette - Ci¥Program Files¥Microsoft Visual Studio¥MyProjects¥MLEXCE [] [] > ァイル(E) 編集(E) ツール(T) オブション(Q) ヘルブ(H) 資 (全 🔲 (督) 陶 🎕 🗘 🕙 ! 🕕 国 🞸 🗙 データ項目 展開方法 ページ設定 動作							
データ 	ファイル オス項日	, データ.csv	,			•	拡張処理 ≫
No	項目名			データ型	挿入位置	展開指定	データ内容
1	CSV/P/	パカラム1 グループ1 グループ2		10 値	62 ▼ 📉 C2	展開あり:下1	200
3	CSV/ CSV/	グループ3 グループ4		値 値	D2 E2	展開あり: ト1 展開あり:下1	150 500
5 展開 〇	5 CSV/ グループ5 値 F2 展開あり:下1 275 展開時挿7 グループ6 グループ7 立 - - - - ○ 挿入な - - - - -						
挿入筆 <u>一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</u>							

図 6-61 グループ機能の指定

メニューがポップアップ表示されますので、その項目を所属させたいグループを選択します。 ここでは、"グループ1"を選択します。また、一度選択したグループを解除する場合には"(なし)"を選択します。

グループの選択をすると、その項目は次のように色が変わって表示されます。それぞれのグ ループは色分けされて表示されますので、どの項目が同じグループに所属しているかを一目で 判断することができます。

イル(E) 1) 🚅 データ功) 編集(E) ツール(D) オ 📕 💕 🗈 🛍 ⊅ 🎙 钼 🛛 展開方法 ページ設行	プション(Q) / 副 ! <u>乳</u> E 動作	~117(H) ∃↓ <i>铎 ×</i>		
データ	ファイル データ.csv			•	拡張処理 >>
使用	する項目				
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容
1	CSV/P/R/カラム1	値	B2	展開あり:下1	100
2	CSV/P/R/カラム2 .	値	C2 🖵 🔀	展開あり:下1	200
3	- CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500
5	CSV/P/R/カラム5	値	F2	展開あり:下1	275
-展開 C	腓持挿入指定(レコード単位)・ 挿入なし ○ 挿入する 挿入範囲 2:2		挿入先 相対位	远置:下1	

図 6-62 グループの選択後

このようにして他の項目もグループとして設定します。

4ICRO イル(E)) 😅	CROLINK Marionette - C¥Program Files¥Microsoft Visual Studio¥MyProjects¥MLEXCE… <u>- ロ</u> ル(E) 編集(E) ツール(E) オブション(Q) ヘルプ(E) (译 晶 督 陶 竈 ¢ 堅 ! 乳 目 ダ × - 9項目 展開方法 ページ設定 動作					
データ	· ファイル データ.csv			-	拡張処理 >>	
使用。	「「「」「」「」」					
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	「データ内容」	
1	CSV/P/R/カラム1 .	. 値	B2 🖵 🔣	展開あり:下1	100	
2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	200	
3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150	
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500	
5	CSV/P/R/カラム5	値	F2	展開あり:下1	275	
-展開 C	時挿入指定(レコード単位)- 挿入なし ○ 挿入する 挿入範囲 2:2		挿入先 相対位	远:下1		

図 6-63 すべての項目をグループに設定

このようにグループとして設定しても実際の見た目や実行結果は変更前と変わっていませ 99 ん。ですが、2つ目の項目を選択してみると違いがわかります。

デー	気口 (2000)20 (ペーク) タファイル (データ.cs	V		•	
使用	する項目				
No	項目名	データ型	挿入位置	展開指定	データ内容
1	CSV/P/R/カラム1	値	B2	展開あり:下1	100
2	CSV/P/R/カラム2	値	C2	展開あり:下1	200
3	CSV/P/R/カラム3	値	D2	展開あり:下1	150
4	CSV/P/R/カラム4	値	E2	展開あり:下1	500
5	CSV/P/R/カラム5	値	F2	展開あり:下1	275
, ⊢展	開時挿入指定(レコード単	単位)			

図 6-64 グループ機能を使用すると...

このようにグループ化された項目の中では最初の1項目でしか編集作業が行われなくなり ます。この状態で最初の項目の挿入位置を変更すると自動的にグループ化されたほかの項目の 挿入位置も変更されます。ただし、このグループ機能を使用した場合には同じグループの項目 は必ず横方向に配置されることに注意してください。

	1ICROLINK Marionette – C:¥Program Files¥Microsoft Visual Studio¥MyProjects¥MLEXCE 💶 🔲 🔀						
ゆイル(E)	イル(E) 編集(E) ツール(T) オプション(Q) ヘルプ(H)						
11 🖻) 😂 🖬 🖆 🛍 🌣 🖳 🗜 🎒 💷 🖗 🗙						
データ項	ギータ項目 展開方法 ページ設定 動作						
データ	データファイル データ csv						
		1					
使用	使用する項目						
No	項目名		データ型	挿入位置	展開指定	データ内容	
1	CSV/P/R/	/カラム1	値	F3 🖵 🔀	展開あり:下1	100	
2	CSV/P/R/	/カラム2	値	G3	展開あり:下1	200	
3	CSV/P/R/	(カラム3	値	H3	展開あり:下1	150	
4	CSV/P/R/	(カラム4	値	B	展開あり:下1	500	
5	CSV/P/R/	(カラム5	値	J3	展開あり:下1	275	
┌展開	那 時挿入指定	E(レコード単位)—					
0	挿入なし	● 挿入する					
	插入筋囲	2.2		電入失 相対位	·罟·下1		
	147746020	Je.e		WYOL PRAIN			

図 6-65 グループの最初の項目を変更

- 7. Tips
- 7.1. 開発モジュール利用に関する注意事項

開発モジュールでは雛型シートに設定した Excel ファイルを自動的に起動します。この際にモジュール内部では Excel を COM として利用しているため、自動起動した Excel ファイルを閉じた場合にも Excel モジュールはシステムの内部では本プログラムが起動した状態を保持しています。

この状態で別の Excel ファイルをエクスプローラなどから開いた場合に、オペレーティングシ ステムは既に起動している Excel モジュールに対してファイルを開くように指示しますので、 画面には存在していない Excel モジュールでファイルが開かれる事となり、見掛け上、正常に ファイルが開いていないように見えることがありますので操作される場合にはご注意ください。

7.2. 実行モジュール利用に関する注意事項

実行モジュールでは雛型シートを処理する際に、一時フォルダに対して一時ファイルを作成し ます。この際に、設定ファイルで画面を表示したまま終了する動作をさせた場合には一時ファ イルを実行モジュールが自動的に削除することができません(Excel 終了が含まれた場合には 自動的に削除されます)。

この状態が継続すると一時ファイルが蓄積し、ファイルシステムを圧迫するおそれがありますので、定期的に一時ファイルの削除を行ってください。

また、一時ファイルの削除は開発モジュール上の"クリーン"機能で行うことができますので、 こちらを利用されることをおすすめします。

7.3. 異常終了時のシステムリソース問題について

本プログラム(特に実行モジュール)では様々な事態を想定してエラー処理を行っていますが、 稀に異常終了で本プログラムが終了してしまうことがあります。 このような異常終了時には本プログラムの終了処理が正常に行われていないため、Excel モジ ュールの正常な解放が行われず、結果的にメモリ内に滞留することになり、最終的にはオペレ ーティングシステムのメモリ空間やシステムリソース空間を圧迫することとなります。 このような場合にはお手数ですが、タスクマネージャもしくはプログラムの強制終了などで、 Excel モジュールを手動で解放して頂けますようお願いいたします。

7.4. 指定帳票の位置合わせについて 伝票などの印刷に本プログラムを使用する際には以下のような手順で雛型シートを作成する ことで簡単に実現することができます。 まず、最初にスキャナなどを利用して指定帳票をビットマップファイルにしておきます。これ はモノクロ低解像度で充分です。

手順 1. Excel シートを新規作成で開きます。

- 手順 2. 挿入 図 ファイルから で、ファイルを指定して図を挿入します。
- 手順 3. 挿入された図をダブルクリックするとトリミングを入力するダイアログが表示されます。
- 手順 4. トリミング範囲の左・上・右・下にプリンタのマージン幅を入力します。(MF3530の場合は上・下は 0.3mm、左・右は 0.6mm) これはプリンタにより異なります。
- 手順 5. サイズのタブをクリックし、"縦横比を固定する"を OFF にします。
- 手順 6. 倍率を設定します。(MF3530 の場合は高さ 110%・幅 106%、LP9200SX の場合 は高さ 109%・幅 107%) これもプリンタによって異なります。
- 手順 7. イメージをドラッグしてシートの左上にくっつけます。
- 手順 8. ファイル ページ設定 を開いてすべての余白を0にします。
- 手順 9. ページタブをクリックして、紙の向きやサイズを設定します。
- 手順 10. 印刷プレビューで状態を確認します。
- 手順 11. この状態ではページからビットマップが多少はみ出るため、2 ページまたは 4 ページなどになりますが、印刷する時には 1 ページ目だけを指定します。
- 手順 12. シートの印刷を行い、元の指定帳票とぴったり合うことを確認します。
- 手順 13. 確認したら、イメージに合わせながらそれぞれのセル幅や高さをデータの印刷位置 に合わせていきます。
- 手順 14. 位置合わせが終了したところで、一度ページ設定のシートタブで行列印刷をチェックしてもう一度印刷してみます。
- 手順 15. 問題ないことを確認したら、実際の印刷時にイメージは必要ないのでイメージを削 除して雛型シートとして保存します。

あとは、できあがった雛型シートを使って開発モジュールで挿入位置を設定していくだけです。

7.5. 雛型シートの取扱い

実行モジュールでは実行時に雛型シートを一時ファイルに複製し、そのファイルを基に展開 処理などを行います。そのため、動作で設定した場合を除いて、指定した雛型シートが実行モ ジュールによって自動的に書き換えられることはありません。

また、そのために作成したシートを後で再利用する場合などは動作設定の"名前を付けて保存"などを使用して明示的にファイルに保存する必要があります。

7.6. エラーメッセージ一覧

7.6.1. 起動時に表示されるメッセージ

MICROLINK Marionette を起	本プログラムを実行するためには Microsoft® XML Parser
動するためには'MSXML のバ	のバージョン 3.0 以上が必要になりますので、Windows® XP
ージョン 3.0 以上'が必要です。	または Windows® 2002 以外のオペレーティングシステム
	上では別途インストールする必要があります。なお、
	MSXML3.0 は当製品に添付されています。
MICROLINK Marionette を起	本プログラムを実行するためには Microsoft® Excel 2000 ま
動するためには 'Microsoft	たはそれ以降にリリースされた Excel が必要ですので、別途
Excel 2000'以上の Excel が必	インストールをする必要があります。
要です。	

表 7-1 起動時に表示されるエラーメッセージ

7.6.2. 開発モジュールで表示されるエラーメッセージ

設定ファイルが正しくありま	指定した設定ファイルが破損しているか、もしくは設定ファ
せん	イル以外のファイルを読み込もうとしました。
ファイルの保存中にエラーが	設定ファイルの保存ができませんでした。ディスクの空き容
発生しました	量もしくはファイルやフォルダに対する書き込み制限などを
	ご確認ください。
単ーセルの選択のみが可能で	セル取り込み機能で単一セルの選択のみが許されているのに
す	セル範囲を指定した場合に表示されます。

表 7-2 開発モジュールで表示されるエラーメッセージ

7.6.3. 実行モジュールで表示されるエラーメッセージ

設定ファイルの形式が正しく	指定した設定ファイルが破損しているか、もしくは設定ファ
ありません	イル以外のファイルを読み込もうとしました。
有効なファイルではありませ	指定したデータファイルが正しく認識できませんでした。フ
ю	ァイルの形式などをご確認ください。
指定した雛型シートが開けま	雛型シートとして指定したファイルがオープンできませんで
せん	した。ファイルが正しく保存されているかをご確認ください。
セルの展開または書式のコピ	展開処理中にエラーが発生しました。挿入位置の指定方法が
ー方法に問題が発生しました。	間違っていたり、結合したセルを含むコピーや指定方法など
	に問題があった場合などに発生します。挿入位置や展開方法
	などの設定をご確認ください。
メソッドの実行に失敗しまし	主に動作処理の実行中に表示されます。詳細設定で指定した
た。	値が正しくない可能性がありますのでご確認ください。

表 7-3 実行モジュールで表示されるエラーメッセージ

7.7. 制限事項

本プログラムでの設定項目のうち、以下の項目を重複して設定することはできません。

1. 展開時挿入指定とページ設定での複写

挿入によって複写範囲が乱れるため正常に複写されません。

2. 展開後削除指定とページ設定での複写
 上記理由と同様に正常に複写されません。

また、展開時挿入指定は挿入することで結合したセルが乱される場合など、複雑な雛型シートに対しては処理をすることができません。たとえば、図 7-1 のような場合には、"C"の表に関しては挿入指定を行うことができますが、"A""B"に対しては挿入することで"C"の構成が乱れてしまうので挿入することはできません。

このような場合には、展開時挿入指定を使用しないで、あらかじめ雛型シート上で必要な行数を用意しておくことで本来の必要な処理を行うことができます。



図 7-1 展開時挿入指定ができない例

また、動作設定の項目はすべてシーケンシャルに動作します。そのため、一部 Excel が制御 をユーザに戻さない機能(例えば印刷プレビュー)を実行した場合には機能が停止したように 見えますが、この場合は起動した Excel シートに対してなんらかの処理(設定した動作によっ て異なります)を行うことで復帰します。

7.8. 実行モジュールの起動方法

外部プログラムとして実行モジュールを起動するためには、以下のコマンドライン形式を使用してください。また、各種 RAD ツールにより専用の起動方法がある場合には、それぞれの ツールのリファレンスなどを参考にしてください。

mlexcel_runtime [設定ファイル名] [オプション] [パラメータ] ...

表 7-4 実行モジュールの起動方法

設定ファイル名	必ず指定します。実行する設定ファイル名を指定してください。				
オプション	任意で指定します	す。以下のオプションがあります。			
	/noprogress	処理中を表すプログレスバーダイアログを非表示にしま			
		す。ただし、この場合は途中で処理を中断することがで			
		きなくなります。			
	/show	データ展開中に Excel の画面を表示します。			
パラメータ	任意で指定します	す。指定したパラメータは次のような時に使用されます。			
ODBC クエリファ	イルのパラメータ	│ 該当するパラメータ位置に指定した順番で設定しま			
クエリに対するパ	ラメータ	す。パラメータ数が足りない場合には入力ダイアログ			
		が表示されて、パラメータの入力を促します。			
動作でのエイリア	ス	与えられた引数に対して順に " %1% "" %2% " として使			
		用することができます。			

表 7-5 実行モジュールの引数

また、実行モジュールはすべての処理が正常に終了した場合にのみ戻り値として"0"を返します。それ以外の数値を返した場合はなんらかの異常が発生したことを表します。

7.9. バージョンアップによる変更点

7.9.1. バージョン 1.10 での変更点

1ページ分の処理毎に動作設定の処理を実行することが可能になりました。この機能を使用 することで次のような処理が可能になりました。

- ◆ 1ページごとに印刷処理を行うことで、全ページを処理しなくてもリアルタイムに印刷処理をすることができます。
- ◆ カード型のデータを処理する際に、1ページごとにファイルに保存することができます。
- 7.9.2. バージョン 1.11 での変更点

拡張ジャンプ処理で、ジャンプ先の指定を改ページの挿入位置を基準にすることが可能にな りました。この機能を使用することで、より複雑な帳票形式に対応することができます。

詳しくはサンプルの"見積書 5.mxl"を参照してください。"見積書 3.mxl"と使用している データは同じものですが、出力される帳票が異なります。

7.9.3. バージョン 1.20 での変更点

データファイルとして"ODBC クエリファイル"を新たにサポートしました。 Microsoft®Query で出力することができるクエリファイルをデータファイルとして使用する ことで、データベースを直接操作することが可能です。パラメータクエリに関しても実行モジ ュールの起動時にパラメータを付けて起動することで対応しています。パラメータに関しては 7.8 を参照してください。 グループ機能による一括処理機能を追加しました。行単位でデータを処理する場合に、設定 の煩雑さを避け、また実行時の速度も高速に処理することができます。

また、機能としては暫定的ですがデータのブレーク機能を追加しました。1番目に指定した データが変化するごとにページの区切りとして処理させることができます。詳しくはサンプル の"見積書 6.mxl"および"見積書 7.mxl"を参照してください。出力される帳票は"見積書 5.mxl"と同じものですが、使用データなどが異なりますので設定の参考になると思います。

その他、バージョン 1.20 では "CSV ファイルの出力 "機能の追加や、細かい不具合の修正 を行っています。

7.9.4. バージョン 1.21 での変更点

開発モジュール上でのページ設定の方法が変更になりました。これまではページ単位の処理 を行う場合に必ず改ページコードを埋め込む必要がありましたが、このバージョンからは改ペ ージコードを埋め込むかどうかの設定を新たに追加しました。

動作に新たに"XML ファイルとして保存"を追加しました。

8. 技術資料

8.1. 実行モジュール動作サイクル



図 8-1 実行モジュール動作フロー(1-1)


図 8-2 実行モジュール動作フロー(1-2)



図 8-3 実行モジュール動作フロー(1-3)



図 8-4 実行モジュール動作フロー(2-1)



図 8-5 実行モジュール動作フロー(2-2)

9. 最後に

本プログラムで使用できる設定ファイルのサンプルなどは弊社サポートページで随時、提供 していく予定です。また、バージョンアップ情報なども掲載していく予定ですので、動作上の 問題点などが発生した場合には、そちらの方を一度ご参照いただけますようお願いいたします。

弊社 WebPage

http://www.microlink.co.jp/

本プログラムのサポートページ

http://www.microlink.co.jp/products/marionette/

また、本説明書で使用した取り込み画像は、開発中のプログラムを使用していますので、実際の製品とは異なる部分がある可能性がありますことをご了承願います。

10. 図表

10.1. 図

义	1-1 本プログラムの構成図	.7
义	2-1 起動時ダイアログ	. 8
义	2-2 設定ファイルのプロパティ	. 8
义	2-3 データファイルタブ	.9
义	2-4 ファイルを開く コモンダイアログ	.9
义	2-5 メイン画面(データ項目タブ)	10
义	2-6 展開方法タブ	11
义	2-7 ページ設定タブ	12
义	2-8 動作タブ	13
义	2-9 実行結果	14
义	3-1 起動時画面	15
义	3-2 雛型シートタブ	15
义	3-3 データファイルタブ	16
义	3-4 データ項目タブ(1)	17
义	3-5 データ項目タブ(2)	17
义	3-6 展開方法タブ	18
义	3-7 拡張処理ダイアログ(1)	20
义	3-8 拡張処理ダイアログ(2)	21
义	3-9 拡張処理ダイアログ(3)	23
义	3-10 移動先指定ダイアログ	24
义	3-11 詳細設定ダイアログ	24
义	3-12 項目展開指定ダイアログ	25
义	3-13 ページ設定タブ(1)	25
义	3-14 ページ設定タブ(2)	27
义	3-15 動作タブ(1)	27
义	3-16 動作タブ(2)	28
义	4-1 ファイルメニュー	28
义	4-2 編集メニュー	29
义	4-3 ツールメニュー	29
义	4-4 オプションメニュー	30
义	4-5 設定ダイアログ	30
义	4-6 ヘルプメニュー	30
义	4-7 ツールバー	30
义	6-1 作成するシート	61
义	6-2 雛型シートの例	62
义	6-3 データファイルの例	62
义	6-4 ヘッダなし CSV の例	63

 図 6-6 XMLの例 図 6-7 マルチドキュメント CSV の例 図 6-8 マルチドキュメントデータの例 図 6-9 ODBC クエリファイルの例 図 6-10 起動画面 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	63 64 64 65 65 66 66
 図 6-7 マルチドキュメント CSV の例 図 6-8 マルチドキュメントデータの例 図 6-9 ODBC クエリファイルの例 図 6-10 起動画面 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	64 64 65 65 66 66
 図 6-8 マルチドキュメントデータの例 図 6-9 ODBC クエリファイルの例 図 6-10 起動画面 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	64 64 65 65 66
 図 6-9 ODBC クエリファイルの例 図 6-10 起動画面 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	64 65 65 66 66
 図 6-10 起動画面. 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	65 65 66 66
 図 6-11 設定ファイル名の入力 図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力 	65 66 66
図 6-12 設定の説明の入力 図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力	66 66
図 6-13 雛型シートの入力 図 6-14 データファイルの入力	66
図 6-14 データファイルの入力	
	67
図 6-15 メインダイアログ	68
図 6-16 起動された雛型シート	68
図 6-17 データ項目の設定	69
図 6-18 設定するデータファイルの選択	70
図 6-19 挿入位置の設定	71
図 6-20 展開指定の設定	72
図 6-21 展開指定をすべて設定	73
図 6-22 名前での参照例 (雛型シートの設定)	73
図 6-23 名前での参照例(入力方法)	74
図 6-24 セル値による参照例 (雛型シートの設定)	74
図 6-25 セル値での参照例(入力方法)	75
図 6-261 レコード処理した後のシート	75
図 6-272 レコード処理した後のシート	76
図 6-28 展開時挿入設定の設定	76
図 6-29 もう一つの展開時挿入設定の設定	77
図 6-30 拡張処理ダイアログ	78
図 6-31 展開後削除指定の設定	79
図 6-32 動作の設定	80
図 6-33 チェックでの正常メッセージ	80
図 6-34 チェックでのエラーメッセージ例	81
図 6-35 テスト実行の結果	81
図 6-36 実行用データ	82
図 6-37 コマンドプロンプト	82
図 6-38 実行結果	82
図 6-39 ページのレコード数を設定	83
図 6-40 拡張展開処理の設定	84
図 6-41 拡張ジャンプ処理の設定	85
図 6-42 ページ設定	86
図 6-43 改ページ挿入位置の設定	87

义	6-44 複数ページ作成の実行結果	87
义	6-45 結果の印刷プレビュー画面	88
叉	6-46 印刷して終了する設定	89
叉	6-47 明細部とヘッダ部に分かれたファイル	89
义	6-48 複数ファイルを使用する場合の雛型シート例	90
义	6-49 データファイルの登録	90
义	6-50 複数のデータファイルが登録された	91
叉	6-51 データ項目から使用する項目を選択	92
义	6-52 挿入位置を設定	92
叉	6-53 ヘッダ部分の拡張処理設定	93
义	6-54 ヘッダと明細が展開された実行結果	93
叉	6 -55 動作だけの設定例	94
叉	6-56 実行結果	94
叉	6-57 ページごとに動作処理(1)	95
叉	6-58 ページごとに動作処理(2)	96
叉	6-59 実行結果	96
叉	6-60 ページごとにファイル生成	97
叉	6-61 グループ機能の指定	98
叉	6-62 グループの選択後	99
叉	6-63 すべての項目をグループに設定	99
叉	6-64 グループ機能を使用すると1	00
义	6-65 グループの最初の項目を変更1	01
义	7-1 展開時挿入指定ができない例1	05
図	8-1 実行モジュール動作フロー(1-1)1	08
図	8-2 実行モジュール動作フロー(1-2)1	.09
図	8-3 実行モジュール動作フロー(1-3)1	.09
义	8-4 実行モジュール動作フロー(2-1)1	10
义	8-5 実行モジュール動作フロー(2-2)1	11
10.2. ₹	表	
表	3-1 データ型の種類	18
表	3-2 挿入位置と展開指定	19
表	3-3 展開時挿入指定	19
表	3-4 一定レコード数ごとにページの区切りとする	20
表	3-51番の項目のデータが変わった時点をページの区切りとする	21
表	3-6 拡張ジャンプ	22
表	3-7 拡張展開処理	22
表	3-8 展開後削除指定	24
表	3-9 改ページの挿入位置	26
表	3-10 改ページ時の複写	26
	1	15

表 4-1 ツールバーのボタン一覧	31
表 5-1 画面表示の実行例	32
表 5-2 表示倍率設定の設定例	32
表 5-3 全画面表示の設定例	33
表 5-4 改ページプレビュー表示の設定例	33
表 5-5 ユーザー設定ビューを表示の設定例	34
表 5-6 カーソル移動の設定例	34
表 5-7 カーソル相対移動の設定例	35
表 5-8 範囲指定の設定例	35
表 5-9 領域選択の設定例	36
表 5-10 セル代入の設定例	36
表 5-11 名前定義の設定例	37
表 5-12 ワークシート切り替えの設定例	37
表 5-13 ワークシート選択の設定例	38
表 5-14 シートの移動の設定例	38
表 5-15 シートのコピーの設定例	39
表 5-16 シートを閉じるの設定例	39
表 5-17 シートの作成の設定例	40
表 5-18 シート名の変更の設定例	40
表 5-19 シートを非表示の設定例	41
表 5-20 ブック読込の設定例	41
表 5-21 ファイル読込の設定例	42
表 5-22 ファイル挿入の設定	42
表 5-23 書式付きファイル挿入の設定例	43
表 5-24 名前を付けて保存の設定例	43
表 5-25 Web ページとして保存の設定例	44
表 5-26 CSV ファイルとして保存の設定例	44
表 5-27 XML ファイルとして保存の設定例	45
表 5-28 印刷範囲設定の設定例	45
表 5-29 印刷プレビューの設定例	46
表 5-30 印刷ダイアログ表示の設定例	47
表 5-31 切り取りの設定例	47
表 5-32 コピーの設定例	48
表 5-33 貼り付けの設定例	48
表 5-34 データだけを貼り付けの設定例	49
表 5-35 書式だけを貼り付けの設定例	49
表 5-36 削除の設定例	50
表 5-37 挿入の設定例	50
表 5-38 行挿入の設定例	51
	116

表 5-39 列挿入の設定例	51
表 5-40 改ページ挿入の設定例	52
表 5-41 クリアの設定例	52
表 5-42 画像の貼り付けの設定例	53
表 5-43 並べ替えの設定例	53
表 5-44 オートフィルターのパラメータ	54
表 5-45 オートフィルターの設定例	54
表 5-46 集計処理のパラメータ	55
表 5-47 集計の設定例	55
表 5-48 全シートの保護の設定例	56
表 5-49 メール送信の設定例	57
表 5-50 検索の設定例	58
表 5-51 ブラウザでプレビューの設定例	58
表 5-52 イメージ置き換えの設定例	59
表 5-53 エイリアス一覧	60
表 6-1 使用できるデータファイルの種類	64
表 7-1 起動時に表示されるエラーメッセージ	104
表 7-2 開発モジュールで表示されるエラーメッセージ	104
表 7-3 実行モジュールで表示されるエラーメッセージ	104
表 7-4 実行モジュールの起動方法	105
表 7-5 実行モジュールの引数	106